

中年期男性の生活の送り方に関する調査 調査結果

平成 29 年 10 月

文部科学省科学研究費・基盤研究
「高齢者の社会的不利」研究班

目 次

1 部 調査の概要	1
Ⅰ 調査目的	2
Ⅱ 調査方法	2
Ⅲ 調査メンバー	2
2 部 結果	3
Ⅳ 現在の仕事	4
1. 仕事の有無と就業希望	
2. 就業年数、従業上の地位と従業員規模	
3. 被雇用者の就業環境	
4. 自営業を含む就業者の労働条件	
5. 仕事の内容	
6. 仕事上の社会的支援	
7. 仕事の家庭生活、家庭生活の仕事への影響	
8. 仕事における否定的な出来事	
9. 仕事満足度	
10. 就労継続希望	
Ⅴ. 職歴	19
1. 前職	
2. 最長職	
3. 転職と定年経験	
4. 高年齢者雇用安定法に関する評価	
Ⅵ. 家族、社会活動	25
1. 配偶者	
2. 家族	
3. 社会活動	
Ⅶ. 健康、保健・受療行動	32
1. 健康	
2. 通院、服薬行動	
3. 保健行動	

VIII. 生活・意識	35
1. 生活上の出来事	
2. 自己効力感、自尊感情	
3. 生活満足度、生活不安	
4. 職業・人生のための学習活動	
IX. 社会関係	42
1. 社会的ネットワーク	
2. 社会的サポート、否定的相互作用	
X. 住宅・階層	46
1. 住宅	
2. 家計	
3. 学歴	
XI. 基本属性	48
1. 年齢	
3部 資料	49
XII. 単純集計	49
XIII. 調査票	73

1 部 調査の概要

I. 調査目的

中年期は家族や職場の中核を担うばかりではなく、自らの老後に向けての準備をする重要な時期に当たる。加えて、現在の中年期の人たちは、年金支給年齢の引き上げ、それに伴う就業延長など人生設計に変更を迫られる大きな時代の変動の只中に置かれている。このたび、文部科学省の研究助成を受け、中年期の人たちの職業生活の安定と老後の生活保障施策の推進に貢献することを目的に、中年期男性の職業生活、家庭生活、健康、経済の実態を把握するための調査を実施した。

II. 調査方法

1. 対象

全国 55～64 歳男性の中から、層化無作為抽出法により住民基本台帳から 2,500 人の調査対象者を選んだ。

2. 調査方法

面接聴取法で行った。

3. 調査項目

- ・職業生活・・・現在の仕事、前職、最長職、転職、就労希望
- ・家庭生活・・・配偶関係、家族
- ・地域生活・・・社会活動
- ・健康・・・健康度自己評価、日常生活動作、うつ症状
- ・保健行動・・・運動、肥満、飲酒、喫煙
- ・受療行動・・・通院状況、通院理由の疾患
- ・生活と意識・・・生活上の出来事、自己効力感、自尊感情
- ・社会関係・・・社会的ネットワーク、社会的支援
- ・住宅・階層・・・住居の種類、収入、貯蓄、学歴

4. 回収状況

919 名に対して調査が完了した。未回収の理由は、多い順に示すと、本人拒否（未回収者全体の 48.2%）、短期不在（同 21.6%）、家族拒否（同 18.5%）、転居（同 3.2%）、長期不在（2.5%）などであった。

III. 調査メンバー

- 杉澤 秀博（桜美林大学大学院・老年学研究科・教授、代表）
原田 謙（実践女子大学・人間社会学部・准教授）
杉原 陽子（首都大学東京大学院・都市環境科学研究科・准教授）
柳沢 志津子（徳島大学大学院・医歯薬学研究部・講師）
新名 正弥（桜美林大学大学院・老年学総合研究所・連携研究員）

2 部 調査結果

IV. 現在の仕事

1. 仕事の有無と就業希望（表Ⅳ－1～表Ⅳ－3）

仕事の有無については、「1つだけしている」が78.5%、「2つ以上している」が6.0%、「していない」が15.6%であった。仕事をしていない人に対して、実際に仕事につけるか否かは別にして、収入のある仕事につきたいと思っているか否かについて質問した。「つきたい」との回答が36.4%、「つきたくない」との回答が41.3%であった。同じく、仕事をしていない人に対して、過去の収入を伴う仕事の経験について質問した。「44歳過ぎまで仕事をしていた」という人が95.1%、「44歳前に退職」と回答した人が4.9%であった。

表Ⅳ－1 現在の仕事の有無（%）

1つだけしている	2つ以上している (副業がある)	していない	無回答
78.5	6.0	15.6	0.0

N = 919

表Ⅳ－2 無職の人の就業希望の有無（%）

つきたい	つきたくない	わからない	無回答
36.4	41.3	18.2	4.2

N = 143

表Ⅳ－3 無職の人の就業経験の有無（%）

44歳過ぎまで仕事をして いた	44歳前に退職
95.1	4.9

N = 143

2. 就業年数、従業上の地位、会社全体の従業員規模

1) 就業年数（表Ⅳ－4）

「30～39年」「40年以上」がそれぞれ29.8%と11.0%と、30年以上にわたって現在の仕事に従事している人が全体の40%を占めている。反面、「10年未満」も34.9%いた。

表Ⅳ－4 現在の仕事の就業年数（%）

10年未満	10～19年	20～29年	30～39年	40年以上
34.9	12.4	12.0	29.8	11.0

N = 776

2) 従業上の地位 (表Ⅳ－5)

収入のある仕事をもっている人について、従業上の地位と会社全体の従業員規模を質問した。「正規従業」が56.4%、「自営業主」が21.6%と続いていた。

表Ⅳ－5 従業上の地位 (%)

正規従業	パート・ アルバイト	嘱託	派遣社員	契約社員	自営業主	家族従業	内職	その他	無回答
56.4	9.9	8.8	0.9	1.2	21.6	0.5	0.1	0.5	0.0

N = 776

3) 会社全体の従業員規模 (表Ⅳ－6)

従業員規模は、「10人未満」が30.0%、「10～100人未満」が22.3%、他方「1,000人以上」と「官公庁」がそれぞれ14.1%、10.5%であった。

表Ⅳ－6 会社全体の従業員規模 (%)

10人未満	10～100人 未満	100～300人 未満	300～1000 人未満	1000人 以上	官公庁	無回答
30.0	22.3	10.5	9.8	14.1	10.5	2.8

N = 776

3. 被雇用者の就業環境

1) 転籍・出向 (表Ⅳ－7)

被雇用者を対象に、現在勤務している会社が他の会社からの出向先、または転籍先かを質問した。「勤め先に籍があり、そこで就業している」との回答が88.3%、「転籍先」「出向先」という回答がそれぞれ5.0%と3.7%であった。

表Ⅳ－7 出向・転籍の有無 (%)

勤め先に籍があり、 そこで就業	出向先	転籍先	無回答
88.3	3.7	5.0	3.0

N = 599

2) 会社の定年年齢 (表Ⅳ－8)

会社の定年年齢については、60歳かもしくはそれ以前という人が53.1%と過半数を占めていた。61～65歳までが20.7%であった。

表Ⅳ－8 会社の定年年齢 (%)

～60歳	61～65歳	66歳以上	定年なし	わからない ／無回答
53.1	20.7	2.5	21.2	2.5

N = 599

3) 勤務先までの通勤時間（表Ⅳ－9）

勤務先までの通勤時間を片道にかかる時間で質問した。「30分未満」が52.6%、「30分～1時間未満」が27.9%であり、全体の約8割が1時間未満の通勤時間であった。

表Ⅳ－9 勤務先までの通勤時間（%）

30分未満	30分～ 1時間未満	1時間～ 1時間30分未満	1時間30分以上	特定不能 ／無回答
52.6	27.9	12.7	4.8	2.0

N = 599

4) 給料と会社の従業員の削減（表Ⅳ－10、表Ⅳ－11）

会社（官公庁）の従業員数がこの3年間にどの程度削減されたか否かについては、「削減された」という回答が15.7%であった。削減された会社における割合は「5%未満」が50.0%、「5～9%」が21.3%であった。

表Ⅳ－10 削減の有無－過去3年間（%）

削減された	削減されなかった	わからない／無回答
15.7	73.0	11.3

N = 599

給料の増減については、前年と比較した場合について質問した。「変わらない」が59.3%と最も多く、「減った」「増えた」が20.0%と18.5%とそれぞれほぼ同じ割合を占めていた。

表Ⅳ－11 給料の増減－前年と比較した場合（%）

減った	変わらない	増えた	わからない／ 無回答
20.0	59.3	18.5	2.2

N = 599

5) 高齢者への差別的対応 (表Ⅳ—12)

職場における高齢者への差別的対応について、以下3項目で質問した。「ある年齢になると、左遷させられる」「ある年齢以上になると昇給が停止する」「年長の人の意見や考えが無視されがちである」「職場には、60歳よりも前に退職すべきだという雰囲気がある」。選択肢は「非常にあてはまる」から「まったくあてはまらない」の4段階であった。差別的な対応がある（「非常にあてはまる」「まああてはまる」との回答割合）との回答は、「ある年齢以上になると昇給が停止する」という項目で多く、全体の49.3%を占めていた。この割合はそれ以外の項目ではすべて10%未満であった。

表Ⅳ—12 職場における高齢者への差別的対応 (%)

	非常に あてはまる	まあ あてはまる	あまり あてはまらない	まったく あてはまらない	わからない ／無回答
ある年齢になると、左遷させられる	1.7	7.2	14.7	72.8	3.7
ある年齢以上になると昇給が停止する	25.9	23.4	8.7	36.2	5.8
年長の人の意見や考えが無視されがちである	1.7	4.7	33.9	55.1	4.7
職場には、60歳よりも前に退職すべきだという雰囲気がある	0.5	2.7	19.0	73.6	4.2

N = 599

6) 会社における中高年向けの施策・制度 (表Ⅳ—13)

会社における中高年向けの施策・制度の有無については、「働きやすい労働時間の設定」「残業規制や残業免除」など11項目にわたって質問した。「ある」という回答が最も多かったのは「再雇用（再任用制度）」(69.1%)で、「作業設備や環境の改善」(54.1%)、「働きやすい労働時間の設定」(53.9%)が50%以上と続いていた。最も少なかったのは「再就職先の斡旋」(17.5%)であった。

表Ⅳ—13 職場における中高年向けの施策・制度 (%)

	ある	ない	わからない／ 無回答
働きやすい労働時間の設定	53.9	40.2	5.8
残業規制や残業免除	37.6	55.9	6.5
作業設備や環境の改善	54.1	36.9	9.0
身体的に無理のない仕事に変更	49.7	43.9	6.3
退職後の生活設計の講座の開催や受講料の援助	25.7	66.4	7.9
技術修得のための講座や資金の援助	41.1	51.9	7.0
健康・体力づくりの機会や場の提供、お金の補助	31.7	61.8	6.5
定年の引き上げ	28.9	62.4	8.7
再雇用(再任用制度)	69.1	22.7	8.1
再就職先の斡旋	17.5	73.3	9.1
介護休業制度	41.4	44.2	14.4

N = 599

7) 会社に対する評価（表Ⅳ－14）

勤務している会社に対する評価については、「他の会社ではなく、この会社を選んで本当に良かったと思う」「この会社に自分をささげている」などの項目を用いて質問した。半数以上の人々が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答していた項目は、多い順に示すと「この会社の人間であることをいつも意識している」(69.1%)、「他の会社ではなく、この会社を選んで本当に良かったと思う」(67.4%)、「この会社が気に入っている」(66.3%)、「この会社の発展のためなら、人並み以上の努力を喜んでするつもりだ」(51.3%)であった。

表Ⅳ－14 勤務している会社に対する評価（％）

	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう 思わない	わからない ／無回答
他の会社ではなく、この会社を選んで本当に良かったと思う	39.6	27.9	24.4	3.8	2.8	1.5
この会社に自分をささげている	22.0	26.2	30.4	10.4	9.3	1.7
友人に、この会社がすばらしい働き場所であるといえる	16.5	24.4	39.2	10.9	7.5	1.5
この会社の発展のためなら、人並み以上の努力を喜んでするつもりだ	21.0	30.2	31.1	9.2	6.7	1.8
この会社が気に入っている	29.5	36.7	24.4	4.0	3.7	1.7
この会社の人間であることをいつも意識している	40.2	28.9	19.4	5.2	4.5	1.8

N = 599

8) 仕事上の否定的な出来事（表Ⅳ－15、表Ⅳ－16）

「重大な仕事上のミスをした」「自分の業績が上がらなかった、ノルマを達成できなかった」など仕事上の否定的な出来事について、過去1年間における経験の有無を質問した。最も多かった否定的な出来事は、「自分の業績が上がらなかった、ノルマが達成できなかった」で9.5%の人が経験していた。次いで「上司、同僚、部下とのトラブル」で9.2%の人が経験していた。

仕事上の否定的な出来事が精神的にどの程度大変であったかを質問した。分析例が少なく、参考程度にしかならないが、「かなり大変」との回答は、「仕事が原因で大きなけがをした」(50.0%)、「退職を強要された」(42.9%)で高い割合を示していた。

表Ⅳ－15 過去1年における仕事上の否定的な出来事（％）

	あった	なかった	わからない／ 無回答
重大な仕事上のミスをした	4.5	94.2	1.3
自分の業績が上がらなかった、ノルマが達成できなかった	9.5	89.1	1.3
退職を強要された	1.2	97.5	1.3
左遷された	0.8	97.8	1.3
転勤、配置転換	7.7	91.0	1.3
上司、同僚、部下とのトラブル	9.2	89.3	1.5
仕事が原因で大きな病気やケガをした	4.2	94.5	1.3

N = 599

表Ⅳ—16 過去1年における仕事上の否定的な出来事による精神的大変さ（％）

	かなり大変	少し大変	なんとも なかった	N
重大な仕事上のミスをした	33.3	33.6	11.1	27
あなたの業績が上がらなかった、ノルマが達成できなかった	15.8	59.6	24.6	57
退職を強要された	42.9	14.3	42.9	7
左遷された	20.0	20.0	60.0	5
転勤、配置転換	9.1	38.6	52.3	44
上司、同僚、部下とのトラブル	25.9	38.9	35.2	54
仕事の原因で大きな病気やケガをした	50.0	16.7	33.3	24

9) 転職希望（表Ⅳ—17）

現在の仕事からの転職希望については、「転職は考えていない」が83.8%であった。「すぐにでも転職したい」「いい条件があれば転職したい」という人の合計は15.0%であった。

表Ⅳ—17 現在の仕事からの転職希望（％）

すぐにでも 転職したい	いい条件があれば 転職したい	転職は考 えていない	わからない／ 無回答
1.0	14.0	83.8	1.2

N = 599

4. 自営業を含む就業者の労働条件

1) 労働日数・労働時間（表Ⅳ—18～表Ⅳ—21）

月当たりの労働日数を調査日の前月について質問した。週当たりで20日以下、つまり週休2日以上という回答（「12日以下」「13～16日」「17～20日」の合計）は50.8%であった。「21～24日」「25日以上」という回答は各25.0%と23.7%であった。

表Ⅳ—18 労働日数—前月（％）

12日以下	13～16日	17～20日	21～24日	25日以上	わからない／ 無回答
7.5	6.1	37.2	25.0	23.7	0.5

N = 776

週当たりの労働時間については、40 時間以下（「30 時間以下」と「31～40 時間」の合計）が 53.1%であった。「41～50 時間」「51 時間以上」はそれぞれ 30.3%と 15.1%であった。

表Ⅳ—19 週当たりの労働時間（%）

30 時間以下	31～40 時間	41～50 時間	51 時間以上	わからない／ 無回答
18.2	34.9	30.3	15.1	1.5

N = 776

深夜勤務の時間を質問した。「なし」が 86.1%、「1～20 時間」が 11.3%、「21 時間以上」が 2.1%であった。

表Ⅳ—20 深夜の勤務時間（%）

なし	1～20 時間	21 時間以上	わからない／ 無回答
86.1	11.3	2.1	0.5

N = 776

被雇用者についてのみ、週当たりの残業や休日労働の時間を質問した。「なし」が 53.8%、「1～10 時間」が 27.9%、「11～20 時間」が 7.3%であった。

表Ⅳ—21 残業・休日労働時間（%）

なし	1～10 時間	11～20 時間	21 時間以上	所定の労働時間 が決まっていない	わからない／ 無回答
53.8	27.9	7.3	3.5	5.5	2.0

N = 599

5. 仕事の内容

1) 作業内容（表Ⅳ－22）

作業内容が肉体的、対人関係的、精神的な面で特徴をもったものか、その頻度について質問した。「だいたいいつも」との回答が最も多かったのは、「コンピューターなど電子機器を操作する作業」（45.1%）であった。その他の項目では、「だいたいいつも」への回答割合はすべて20%台か、それ以下であった。

表Ⅳ－22 作業内容の特徴（%）

	だいたい いつも	たまに ある	ほとんど ない	わからない／ 無回答
重いものを運んだり持ち上げたりする	20.1	25.1	54.6	0.1
かがんだり、ひざまずいたり、無理な姿勢での作業	21.6	22.3	55.9	0.1
高熱、寒冷、多湿、騒音、高所での作業	14.0	16.0	69.7	0.3
顧客と交渉したり、顧客からの苦情を聞く	21.1	30.7	47.9	0.3
精密な作業、車の運転など緊張する作業	22.7	18.0	58.9	0.4
コンピューターなど電子機器（パソコン、タブレットなども含む）を操作する作業	45.1	15.9	38.8	0.3

N = 776

2) 仕事上の特徴 (表Ⅳ-23)

仕事上の特徴について、創造的な仕事か、自由裁量があるか、仕事量が多いか、自分の技能を生かすことができるかなどの面から質問した。「新しいことを覚えたり学んだりすることが求められる」など創造的な仕事か否かに関する項目については、「とてもあてはまる」「まああてはまる」という回答が60～70%であった。「どのように仕事をするかを、自分で自由に決めることができる」など自由裁量がどの程度あるかに関する項目については、「とてもあてはまる」「まああてはまる」という回答が70%程度であった。「とても一生懸命に働くことが必要だ」など仕事量が多いか否かに関する項目については、「とてもあてはまる」「まああてはまる」という回答が30～40%で、他の特徴と比べると低い値を示していた。「自分の得意なことをする機会がある」など自分の技術や技能を生かすことができるか否かの項目については、「とてもあてはまる」「まああてはまる」という回答が60～70%であった。

表Ⅳ-24 仕事上の特徴 (%)

	とても あてはまる	まあ あてはまる	あまり あてはまらない	まったく あてはまらない	わからない／ 無回答
新しいことを覚えたり学んだりすることが求められる①	27.6	35.7	22.4	13.7	0.7
高いレベルの技術や知識を必要とする①	24.6	33.8	26.8	14.2	0.7
あなた自身の創意・工夫が求められる①	28.1	43.2	18.2	9.9	0.6
同じことを何度も繰り返すことが求められる①	30.2	33.6	24.7	10.1	1.4
どのように仕事をするかを、自分で自由に決めることができる②	38.1	31.7	17.4	12.4	0.4
その日にどれくらい仕事をするかは、自分の責任で決められる②	41.5	28.9	15.6	13.5	0.5
とても速く働くことが必要だ③	10.7	30.3	38.3	19.5	1.3
とても一生懸命に働くことが必要だ③	25.6	43.0	23.1	7.0	1.2
あまりに多すぎる仕事をこなすことを要求される③	7.7	23.6	42.8	24.9	1.1
仕事をこなす時間的余裕がある③	20.4	48.2	23.3	7.2	0.9
仕事上、まちまちに食い違う指示や提案が出されることがある③	6.2	22.3	38.8	32.1	0.7
学校で学んだ技能や知識を仕事で活用できる④	15.2	27.3	33.1	23.6	0.8
自分の得意なことをする機会がある④	22.7	40.2	22.4	13.9	0.8
以前の経験や教育・訓練で得た技能を使う④	33.6	40.1	14.6	11.1	0.7

N = 776

注)①は創造的な仕事か否か、②は自由裁量があるか、③仕事量が多いか、④自分の技能や知識を活用できるか、という仕事上の特徴を評価する項目である。

3) 仕事への関与の強さ (表Ⅳ-24)

仕事に対してどの程度強く関与しているかを評価する質問をした。「私の目標のほとんどは、仕事に関するものだ」「私の生活は、今の仕事抜きでは語れない」という項目に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」との回答はそれぞれ 45.9%と 54.1%であり、関与が強い人が約半数を占めていた。

表Ⅳ-24 仕事への関与の強さ (%)

	そう 思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	わからない/ 無回答
私の目標のほとんどは、仕事に関するものだ	23.2	22.7	26.0	11.3	16.0	0.8
私の生活は、今の仕事抜きでは語れない	29.1	25.0	20.9	11.2	13.1	0.7
私にとって、仕事は今の自分の一部分にすぎない	26.7	29.1	21.3	12.2	10.1	0.6

N = 776

6. 仕事上の社会的支援

1) 情緒的支援 (表Ⅳ-25)

社会的支援については、情緒的支援、手段的支援、受容の3つの側面から評価し、それぞれの支援の内容別に上司、同僚・部下、家族・友人・親戚という3種類の提供源別に質問した。

情緒的支援については、「仕事上の心配や悩みをどの程度よく聞いてくれるか」という質問で測定した。「よく聞いてくれる」「まあ聞いてくれる」との回答は、非該当の人も含めた割合で見ると、「家族・友人・親戚」が77.8%と最も高く、「同僚・部下」が66.1%、「上司」が58.9%と続いていた。

表Ⅳ-25 仕事上の心配や悩みを聞くこと (%)

	よく 聞いてくれる	まあ 聞いてくれる	あまり 聞いてくれない	まったく 聞いてくれない	非該当	わからない/ 無回答
上司	22.3	36.6	7.3	2.8	27.6	3.3
同僚・部下	19.3	46.8	7.5	3.7	18.9	1.1
家族・友人・親戚	32.7	45.1	7.7	3.5	6.4	4.5

N = 776

非該当とは、各支援の提供源に当たる人がいないと回答した人である。

2) 手段的支援 (表Ⅳ-26)

手段的支援については、「仕事をやり遂げる上での手助けをどの程度してくれるか」という質問で測定した。「大いに助けになる」「まあ助けになる」と回答は、非該当の人も含めた割合で見ると、「同僚・部下」が70.3%と最も高く、「家族・友人・親族」が61.8%、「上司」が56.9%と続いていた。

表Ⅳ-26 仕事をやり遂げる上での手助け (%)

	大いに 助けになる	まあ 助けになる	あまり 助けにならない	まったく 助けにならない	非該当	わからない/ 無回答
上司	20.0	36.9	12.2	2.8	27.6	1.4
同僚・部下	27.8	42.5	9.1	2.3	16.5	1.7
家族・友人・親戚	25.1	36.7	19.3	12.5	4.3	2.1

N = 776

非該当とは、各支援の提供源に当たる人がいない人である。

3) 受容 (表Ⅳ-27)

受容については、「個人的な都合で仕事を調整した場合にどの程度理解してくれるか」という質問で測定した。「非常に理解がある」「まあ理解がある」と回答は、非該当の人も含めた割合で見ると、「同僚・部下」が76.7%と最も高く、「家族・友人・親族」が67.5%と続いていた。

表Ⅳ-27 個人的な都合で仕事調整した際の理解度 (%)

	非常に 理解がある	まあ 理解がある	あまり 理解がない	まったく 理解がない	非該当	わからない/ 無回答
上司	32.7	34.8	3.0	0.6	26.8	2.1
同僚・部下	34.8	41.9	2.4	0.5	17.9	2.5

N = 776

非該当とは、各支援の提供源に当たる人がいない人である。

7. 仕事の家庭生活、家庭生活の仕事への影響

1) 仕事の家庭生活へ影響（表Ⅳ—28）

仕事が家庭生活にどの程度影響しているかについて質問した。「仕事や仕事上のつきあいが忙しくて、家の用事や家族との会話が十分にできない」「家にいても仕事や仕事上の悩みが頭から離れなくて、家族のことがおろそかになる」については、「かなりあてはまる」「まああてはまる」が合計で20%程度であった。

表Ⅳ—28 仕事の家庭生活への影響（％）

	かなり あてはまる	まあ あてはまる	あまり あてはまらない	まったく あてはまらない	わからない／ 無回答
仕事や仕事上のつきあいが忙しくて、 家の用事や家族との会話が十分にで きない	3.5	19.1	43.4	33.0	1.1
家にいても仕事や仕事上の悩みが頭 から離れなくて、家族のことがおろそ かになる	2.2	15.7	43.6	37.2	1.3

N = 776

2) 家庭生活の仕事へ影響（表Ⅳ—29）

逆に、家庭生活が仕事に影響しているかについて質問した。「家のことに時間がかかるので、仕事に支障をきたすことがある」「家のことや家族のことが気になって、仕事に集中できないことがある」については、「かなりあてはまる」「まああてはまる」の合計は10%未満であり、仕事が家庭生活に与える影響の方が大きな割合を示していた。

表Ⅳ—29 家庭生活の仕事への影響（％）

	かなり あてはまる	まあ あてはまる	あまり あてはまらない	まったく あてはまらない	わからない／ 無回答
家のことに時間がかかるので、仕 事に支障をきたすことがある	1.3	5.2	40.7	51.9	0.9
家のことや家族のことが気になっ て、仕事に集中できないことがある	0.5	5.8	40.3	52.3	1.1

N = 776

8. 仕事における否定的な出来事

1) 過去1年間における仕事の原因でのケガ（表Ⅳ—30）

「ない」という回答は92.9%であった。「あるが、医師の手当ては受けなかった」などケガの経験がある人は、全体の6.2%であった。

表Ⅳ—30 過去1年間における仕事の原因でのケガの有無（%）

ない	あるが、医師の手当ては受けなかった	医師の手当ては受けたが、会社を休むことはなかった	少なくとも1日以上仕事を休むケガをした	後遺症が残るようなケガをした	わからない／無回答
92.9	2.3	1.7	1.9	0.3	0.9

N = 776

2) 仕事を失う可能性（表Ⅳ—31）

定年や自己都合以外で仕事を失う可能性について質問した。「非常にありうる」「いくらかありうる」がそれぞれ5.3%、18.7%で、全体の2割が仕事を失う可能性があるとは回答していた。

表Ⅳ—31 定年や自己都合以外で仕事を失う可能性（%）

非常にありうる	いくらかありうる	あまりありそうでない	ほとんどありそうにない	わからない／無回答
5.3	18.7	25.6	46.5	3.9

N = 776

9. 仕事満足度

1) 領域別満足度（表Ⅳ－32）

「能力の活用・発揮」「職場の人間関係」など6項目について、個別領域の満足度を質問した。「賃金・収入」を除き、「大いに満足」「まあまあ満足」の合計がすべて60%以上であった（「仕事の内容・やりがい」が72.9%、「能力の活用・発揮」が69.7%、「職場の人間関係」が67.2%、「就業時間・休日」が64.3%、「作業設備・労働環境」が63.6%）であった。

表Ⅳ－32 領域別にみた仕事満足度（%）

	おおいに満足	まあまあ満足	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない	わからない／無回答
能力の活用・発揮	16.6	53.1	23.2	4.3	2.1	0.7
職場の人間関係	13.5	53.7	21.9	4.3	1.7	4.9
賃金・収入	5.9	37.4	26.3	21.9	7.7	0.7
就業時間・休日	13.1	51.2	19.8	12.4	3.0	0.6
仕事の内容・やりがい	16.2	56.7	18.4	6.4	1.8	0.4
作業設備・労働環境	11.0	52.6	21.6	11.7	2.4	0.6

N = 776

2) 全体満足度（表Ⅳ－33）

全体満足度をみると、「大いに満足」「まあまあ満足」の合計は80.1%であった。

表Ⅳ－33 全体の仕事満足度（%）

	おおいに満足	まあまあ満足	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない	わからない／無回答
全体的に	13.0	67.1	13.3	5.0	1.3	0.3

N = 776

10. 就労継続希望

1) 就労継続希望年齢及び就労希望業務（表Ⅳ－34）

仕事のある場があるとして何歳くらいまで収入を伴う仕事をしたいか尋ねた。その結果、「61～65 歳」（40.2%）が最も多く、次いで「66～70 歳」（31.2%）と、希望する稼働年齢は 61 歳から 70 歳の間で 7 割を占めていた。

表Ⅳ－34 希望する就業年齢（%）

すぐ辞めたい	55～60 歳	61～65 歳	66～70 歳	71～75 歳	76～80 歳	81 歳以上	わからない／ 無回答
5.9	3.7	40.2	31.2	6.3	3.7	1.9	7.1

N = 919

2) 61 歳以後の希望職務形態（表Ⅳ－35）

61 歳以後も働きたいと答えた人（N=764 人）に、どのような職務形態を希望するか尋ねたところ、「普通勤務」（38.7%）が最も多く、「短時間勤務」（30.9%）が続いていた。「自営業」と答えた者が 18.0% いた。

表Ⅳ－35 雇用継続時の希望職務形態（%）

普通勤務	短時間勤務	任意の仕事	自営業	家業手伝い	その他	わからない
38.7	30.9	3.4	21.6	1.3	2.6	1.4

N = 764

3) 求職活動（表Ⅳ－36）

全ての調査対象者に調査時点で求職活動を行っているか尋ねた。「していない」という回答が 97.4% を占めていた。

表Ⅳ－36 求職活動の有無（%）

している	していない	無回答
2.3	97.4	0.3

N = 919

4) 求職活動期間（表Ⅳ－37）

調査時点で求職活動をしていると答えた人（N=21 人）に、どのくらいの期間求職活動をしているか尋ねたところ、「1 年未満」が 78.9%、「1～5 年」が 21.3%であった。

表Ⅳ－37 求職活動期間（%）

1 年未満	1～5 年	無回答
78.9	21.3	9.5

N = 21

V. 職歴

1. 前職

1) 前職の就業期間（表V－1）

45 歳以上の人に前職の就業期間を尋ねたところ、「30～39 年」（32.0%）が最も多く、次いで「10 年未満」（23.9%）、「20～29 年」（13.2%）、「40 年以上」（11.9%）、「10～19 年」（10.7%）の順であった。

表 V－1 前職の就業期間（%）

10 年未満	10～19 年	20～29 年	30～39 年	40 年以上	無回答
23.9	10.7	13.2	32.0	11.9	8.3

N=469

2) 前職の職務形態（表V－2）

45 歳以上の人に前職の職務形態を見ると、「正規従業」（84.9%）が最も多く、「自営業主」（6.6%）及び「パート」（5.1%）は低水準に留まっていた。

表 V－2 前職の職務形態（%）

正規従業	パート	嘱託	派遣社員	自営業主	その他	無回答
84.9	5.1	1.5	1.3	6.6	0.2	0.6

N=469

3) 前職の従業員規模（表V－3）

45 歳以上の人に前職の従業員規模を尋ねたところ、「10～100 人」の中規模事業所が 25.4%と最も多く、他方、「1,000 人以上」の大規模事業所も 20.9%を占めており、二極化していた。「10 人未満」の小規模事業所及び「官公庁」はそれぞれ 16.4%と 16.4%であった。

表 V－3 前職の従業員規模の単純集計(%)

10 人未満	10～100 人	100～300 人	300～1,000 人	1,000 人以上	官公庁	わからない／無回答
16.4	25.4	7.2	9.6	20.9	16.4	4.0

N=469

4) 前職の退職理由 (表V-4)

前職の退職理由を尋ねたところ、最も多かったのが「定年」(35.2%)、次いで「自分の健康上の理由」(13.2%)、「事業所の閉鎖や会社の倒産」(10.9%)であった。「会社や仕事に対する不満」と「よりよいキャリアアップ」はそれぞれ7.2%と5.5%であり、「解雇や人員整理のため」より(4.1%)多かった。「家庭介護」(4.1%)は5%未満であった。

表V-4 退職理由の集計(複数回答)(%)

定年のため	早期退職優遇制度を利用して	事業所の閉鎖や会社倒産	解雇や人員整理のため	契約期間満了のため	会社や仕事に対する不満のため	よりよい仕事へのキャリアアップのため	結婚のため	家族介護のため	その他の家庭の事情	自分の健康上の理由	出向・転籍となったため	その他	わからない／無回答
35.2	7.7	10.9	4.1	1.7	7.2	5.5	0.9	4.1	3.8	13.2	3.6	10.2	0.9

N=469

2. 最長職

1) 最長職の職務形態 (表V-5)

最も長く勤めた職業の職務形態(現在就業中も含む)については、「正規従業」(77.4%)が最も多かった。

表V-5 最長職の職務形態 (%)

正規従業	パート	嘱託	派遣社員	自営業主	その他	無回答
77.4	2.4	2.3	0.3	16.5	0.7	0.3

N=919

2) 最長職の従業員規模 (表V-6)

最も長く勤務した職場 (現在就業中も含む) の従業員規模を尋ねると、「10 人未満」(「1 人」「2～4 人」「5～9 人」の合計) が 24.0%、10～100 人未満 (「10～29 人」「30～49 人」「50～99 人」の合計) が 20.8%、他方、「1,000 人以上」が 19.5%、「官公庁」が 14.6%であった。

表V-6 最長職の従業員規模 (%)

1 人	2 ～ 4 人	5 ～ 9 人	10 ～ 29 人	30 ～ 49 人	50 ～ 99 人	100 ～ 299 人	300 ～ 499 人	500 ～ 999 人	1000 人以上	官公庁	わからない／無回答
7.5	9.6	6.9	9.5	5.3	6.0	9.0	4.0	5.9	19.5	14.6	2.2

N=919

3) 最長職の就業期間 (表V-7)

最も長く勤務した職場 (現在就業中も含む) の就業期間については、「30～40 年未満」(43.6%) が最も多く、次いで「20～30 年未満」(22.1%)、「40 年」(16.3%) となっていた。

表V-7 最長職の就業期間 (%)

10 年未満	10～20 年未満	20～30 年未満	30～40 年未満	40 年以上	無回答
2.2	13.8	22.1	43.6	16.3	2.0

N=919

4) 最長職の会社が出向・転籍元 (表V-8)

最長職が現職、前職でない人 (=308 人) に対して、最長職の会社が現在の会社の出向もしくは転籍元か否かを尋ねたところ、「転籍元」が 9.1%、「出向元」が 3.9%であった。「どちらでもない」は 84.7%であった。

表V-8 最長職の会社が出向・転籍元 (%)

出向元	転籍元	どちらでもない	無回答
3.9	9.1	84.7	2.3

N=308

3. 転職と定年経験

1) 転職回数・定年退職歴（表V－9、表V－10）

仕事をしたことがある、もしくは仕事をしている人全員に転職歴を尋ねた。その結果、「1つ」「2つ」がそれぞれ34.3%と27.9%という割合であった。「5つ以上」は12.1%であった。

仕事をしたことがある、もしくは仕事をしている人全員に定年歴を尋ねた。その結果、「ない」が71.5%であった。

表V－9 勤務先数（%）

1つ	2つ	3つ	4つ	5つ以上	無回答
34.3	27.9	15.9	9.0	12.1	0.9

N = 919

表V－10 定年経験の有無（%）

ある	ない	無回答
27.5	71.5	1.0

N = 919

2) 45歳以上での転職経験の評価（表V－11～表V－14）

45歳以降に転職を経験した人に、そのプロセスと評価を質問した。転職は直近のもので回答してもらった。転職後の仕事をどのように見つけたかについては、「前の勤め先の斡旋・再雇用」が27.3%と最も多く、「仕事上の友人・知人の紹介」が10.9%と続いていた。「公共機関の紹介で」は12.6%であった。仕事を見つけるために必要な期間については、「求職活動をしなかった」という回答が60.1%で最も多く、次いで「1ヶ月未満」が14.4%であった。「1年以上」は2.5%であった。

元の仕事と比較した場合の転職先の仕事の評価については、「良くなった」が31.0%、「変わらない」が46.0%、「悪くなった」が20.6%という回答分布であった。前の仕事と比べた場合の転職先の賃金または所得は、「5割以上の減少」との回答が31.6%、「1～3割未満の減少」との回答が24.2%で、70%以上の人が1割以上の賃金・所得の減少を経験していた。

表V－11 仕事の見つけたルート

公共機関の紹介で	民間の職業紹介機関の紹介で	前の勤め先の斡旋・再雇用で	出向元の会社の指示で	新聞の求人広告などを利用して	家族・親戚の紹介で	仕事上の友人・知人の紹介で	仕事以外の友人・知人の紹介で	その他	わからない／無回答
12.6	2.1	27.3	4.6	9.8	2.8	20.9	7.7	12.0	0.3

N=326

表V-12 仕事を見つけるために要した求職期間

求職活動はしなかった	一ヶ月未満	一ヶ月～三ヶ月未満	三ヶ月～六ヶ月未満	六ヶ月～九ヶ月未満	九ヶ月～一年未満	一年以上	わからない／無回答
60.1	14.4	10.1	6.1	1.8	2.8	2.5	2.1

N=326

表V-13 前の仕事と比べた場合の転職先の仕事の評価

良くなった	変わらない	悪くなった	わからない
31.0	46.0	20.6	2.5

N=326

表V-14 前の仕事と比べた場合の転職先の賃金または所得

3割以上増加	1～3割未満の増加	1割未満の増減	1～3割未満の減少	3～5割未満の減少	5割以上の減少	わからない／無回答
4.6	9.2	15.3	24.2	14.4	31.6	0.6

N=326

4. 高齢者雇用安定法に関する評価

1) 高齢者雇用安定法改正の認知度 (表V-15)

全ての調査対象者に高齢者雇用安定法改正について尋ねた。「内容まで知っている」が31.2%、改定は知っているが43.9%となっており、制度改正があったことを知っている人が7割を超えていた。

表V-15 雇用制度改革の認知(%)

内容まで知っている	改定は知っている	知らない	無回答
31.2	43.9	23.2	1.7

N = 919

2) 継続雇用制度の利用と評価 (表V-16、表V-17)

全ての調査対象者に継続雇用制度を利用したことがあるかについて尋ねた。「利用した」と回答した人が12.3%、「利用せず」という回答した人が65.5%、「制度がない」が11.9%、「わからない」が9.0%であった。継続雇用制度を利用したことがある者 (N=113) に対して制度に関する評価を尋ねた。その結果、「良かった」が91.2%であった。

表V-16 継続雇用制度の利用の単純集計(%)

利用した	利用せず	制度がない	わからない／無回答
12.3	65.5	11.9	10.3

N = 919

表V-17 継続雇用制度評価の単純集計(%)

良かった	悪かった	無回答
91.2	5.3	3.5

N = 113

3) 定年延長の経験 (表V-18、表V-19)

全ての調査対象者に職場の定年延長利用経験を尋ねたところ「経験なし」(68.8%)が最も多く、次いで「延長なし」(13.1%)となっていた。「経験した」は7.7%であった。定年延長を利用したことがある人(N=71)に対して制度に関する評価を尋ねた。その結果、「良かった」が91.5%を占めていた。

表V-18 定年延長の経験(%)

経験した	経験なし	延長なし	わからない	無回答
7.7	68.8	13.1	7.4	3.0

N = 919

表V-19 定年延長への評価(%)

良かった	悪かった	無回答
91.5	7.0	1.4

N = 71

VI. 家族、社会活動

1. 配偶者

1) 配偶関係（表VI-1）

配偶者（事実婚や内縁を含む）がいた人は全体の80.4%で、「未婚」10.7%、「離別」6.9%、「死別」2.0%という状況であった。

表VI-1 配偶者の有無（%）

いる	離別	死別	未婚	無回答
80.4	6.9	2.0	10.7	0.1

N = 919

2) 配偶者の属性（表VI-2～表VI-6）

配偶者がいる人（N=739人）に、配偶者の年齢、学歴、健康状態、就労状況、配偶者との関係について質問した。配偶者の年齢は「50歳代」が59.3%と最も多く、次いで「60歳代」33.3%であった。配偶者の最終学歴は「高校」が49.3%と最も多く、次いで「短大・高専」が19.6%、「大学」が14.5%であった。配偶者の健康状態は「良い」が47.2%と最も多く、次いで「普通」22.6%、「まあ良い」22.1%であった。

配偶者が「仕事をしている」という人は63.3%、「していない」が36.1%であった。配偶者が仕事をしている人（N=468人）に配偶者の雇用形態を質問したところ、「パート・アルバイト」が49.6%と最も多く、次いで「正規職員・従業員」27.1%であった。

表VI-2 配偶者の年齢（%）

49歳以下	50-59歳	60-69歳	70-79歳	無回答
6.4	59.3	33.3	0.5	0.5

N = 739

表VI-3 配偶者の最終学歴（%）

中学	高校	専門学校	短大・高専	大学	大学院	その他	無回答
4.9	49.3	9.3	19.6	14.5	0.8	0.3	1.4

N = 739

表VI-4 配偶者の健康状態（%）

よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	わからない	無回答
47.2	22.1	22.6	6.4	1.1	0.4	0.3

N = 739

表VI-5 配偶者の就業の有無 (%)

仕事をしている	仕事をしていない	無回答
63.3	36.1	0.5

N = 739

表VI-6 配偶者の雇用形態 (%)

正規職員・ 従業員	パート・ アルバイト	嘱託	人材派遣企業の 派遣社員	自営業主	家族従業	内職	その他	無回答
27.1	49.6	3.0	0.4	5.3	12.6	0.9	0.9	0.2

N = 468

3) 配偶者との関係 (表VI-7)

配偶者がいる人 (N=739 人) に、配偶者との関係について質問した。全体的に配偶者との関係を良好に評価している人が多く、「配偶者といると気持ちがやすらぐ」という人（「そう思う」と「ややそう思う」の計）は 81.5%、「配偶者と話をするのが楽しい」という人は 80.4%、「何かしようとするとき、励ましてくれる」は 78.8%であった。ネガティブな評価については、「結婚生活は我慢することが多い」という人（「そう思う」と「ややそう思う」の計）は 38.4%、「お互いの考えをあまり話し合わない」は 18.4%であった。

表VI-7 配偶者との関係 (%)

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	無回答
配偶者と話をするのが楽しい	49.7	30.7	16.0	1.8	1.4	0.5
配偶者といると気持ちがやすらぐ	51.6	29.9	14.6	2.6	0.7	0.7
何かしようとするとき、励ましてくれる	45.7	33.0	16.0	3.4	1.2	0.7
結婚生活は我慢することが多い	14.3	24.1	23.1	27.9	9.7	0.8
お互いの考えをあまり話し合わない	6.4	12.0	21.5	38.3	21.1	0.7

N = 739

2. 家族

1) 子ども（表VI-8～表VI-10）

子ども（同別居を問わない）の人数については、「2人」が最多で44.5%、次いで「3人」が21.8%、「いない」が18.2%、「1人」が11.8%という状況であった。

子どもがいる人（N=751人）に「経済的に面倒を見ている子ども」が何人いるか質問したところ、「いない」が69.5%と最も多く、「1人」が21.7%であった。子どもがいる人（N=751人）に「結婚している子ども」の人数を質問したところ、「いない」が最多で44.3%、次いで「1人」30.1%、「2人」19.4%であった。

表VI-8 子どもの数（%）

いない	1人	2人	3人	4人以上	無回答
18.2	11.8	44.5	21.8	3.7	0.1

N = 919

表VI-9 経済的に面倒を見ている子どもの人数（%）

いない	1人	2人	3人	4人以上	無回答
69.5	21.7	7.3	0.9	0.3	0.3

N = 751

表VI-10 結婚している子どもの人数（%）

いない	1人	2人	3人	4人以上	無回答
44.3	30.1	19.4	5.1	0.7	0.4

N = 751

2) 世帯員（表VI-11～表VI-12）

世帯員数は「1人（自分だけ）」という人が10.4%、「2人」30.1%、「3人」29.1%、「4人」16.1%という状況であった。同居者は「配偶者」が88.3%と最も多く、次いで「子ども」56.8%、「実母」20.5%、「実父」9.0%という順であった。

表VI-11 世帯員数（%）

1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
10.4	30.1	29.1	16.1	8.3	5.7	0.3

N = 919

表VI-12 同居者（複数回答）（%）

配偶者	子ども	子どもの 配偶者	実父	実母	義父	義母	祖父	祖母	孫	その他
88.3	56.8	4.8	9.0	20.5	1.3	2.8	0.0	0.5	6.1	3.4

N = 820

3) 家族介護（表VI-13～表VI-17）

この1年間に家族や親戚の中で介護や看病が必要な人がいた人は、全体の33.3%であった。介護や看病が必要な人がいた人（N=306人）に「介護や看病が必要な人は誰か」をたずねたところ、「実の親」が64.4%と最も多く、次いで「義理の親」が28.1%であった。「この1ヵ月では、その人をどのくらい介護・看病したか」をたずねたところ、「毎日」が18.3%、「週に4～6日」が2.3%、「週に1～3日」が14.4%と、週に1日以上、介護や看病をしている人が35%を占めた。一方、「まったくしていない」という人も35.6%いた。

月に1日以上、介護・看病をしていた人（N=146人）に「1日に何時間くらい、その方のお世話をしているか」を質問したところ、「1時間以下」が47.9%と最も多く、次いで「2時間」が19.9%、「3時間」が14.4%であった。

年に数回以上、介護・看病していた人（N=171人）に「あなた以外に、その方のお世話をしている人は誰か」と質問した結果、「家族、親戚、近隣の人」が66.7%と最も多く、次いで「医療・福祉の専門家、在宅介護サービス」39.2%、「誰もいない」12.9%であった。

表VI-13 この1年間に家族や親戚の中で介護や看病が必要な人がいたか（%）

いた	いない	無回答
33.3	66.4	0.3

N = 919

表VI-14 介護や看病が必要な人(複数回答)（%）

実の親	義理の親	兄弟姉妹	その他
64.4	28.1	1.3	12.7

N = 306

表VI-15 この1ヵ月の介護・看病の頻度（%）

毎日	週に4～6日	週に1～3日	月に1～3日	年に数回	全くしていない	死亡した	無回答
18.3	2.3	14.4	12.7	8.2	35.6	7.8	0.7

N = 306

表VI-16 1日に何時間くらい介護・看病をしているか（%）

1時間以下	2時間	3時間	4時間	5時間以上	無回答
47.9	19.9	14.4	5.5	11.0	1.4

N = 146

表VI-17 回答者以外に、その方の介護・看病をしている人(複数回答)（%）

いない	家族、親戚、近隣の人	医療・福祉の専門家	その他
12.9	66.7	39.2	4.1

N = 171

4) 家事（表VI-18、表VI-19）

「家族や親戚、自分のために、家事や買い物、子守り、介護をこの1年間にどのくらいしたか」については、「まったくしていない」という人が25.4%と最も多かったが、一方で「毎日」という人も22.1%いた。「週に1～3日」という人も24.7%と多かった。

月に1日以上、家事などをしていた人（N=601人）に「1日に何時間くらい家事などをしているか」と質問したところ、「1時間以下」が56.9%と最も多く、次いで「2時間」23.0%であった。

表VI-18 家事や買い物、子守り、介護をこの1年間にどのくらいしたか（%）

毎日	週に4-6日	週に1-3日	月に1-3日	年に数回	全くしていない	無回答
22.1	5.5	24.7	13.1	8.6	25.4	0.7

N = 919

表VI-19 1日に何時間くらい家事などをしているか（%）

1時間以下	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間以上	無回答
56.9	23.0	9.8	4.0	2.3	3.2	0.8

N = 601

3. 社会活動

1) 近隣や友人への貢献活動（表VI-20、表VI-21）

この1年間に友人や近所の人のために何らかの手伝いをした人は、32.8%であった。手伝いの頻度は「年に数回」が22.4%と最も多く、次いで「月に1～3日」6.0%であった。

月に1日以上、友人・近隣の手伝いをしていた人（N=95人）に、手伝いをする日は1日に何時間くらいするのかを質問したところ、「1時間以下」が43.2%と最も多く、次いで「2時間」28.4%、「3時間」13.7%という状況であった。

表VI-20 友人や近所の人のために何らかの手伝いをこの1年間にどのくらいしたか（%）

毎日	週に4-6日	週に1-3日	月に1-3日	年に数回	全くしていない	不明 無回答
0.5	0.5	3.3	6.0	22.4	66.3	1.0

N = 919

表VI-21 日に何時間くらい友人等の手伝いをしているか（%）

1時間以下	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間以上	無回答
43.2	28.4	13.7	6.3	3.2	5.3	0.0

N = 95

2) ボランティア活動（表VI-22～表VI-24）

この1年間に何らかのボランティア活動・奉仕活動をしていた人は、全体の57.0%であった。「道路や公園の掃除など地域の環境を良くする活動」をした人が最も多く（42.7%）、次いで「地域の活動や趣味などの会の世話役、手伝い」27.2%、「物を作って寄付したり、募金や古切手などを送る活動」20.0%という状況であった。

1つでもボランティア活動・奉仕活動をしていた人（N=524人）に、このような活動を全部合わせると、この1年間にどのくらいしたのか質問した結果、「年に数回」という回答が最も多く（67.6%）、次いで「月に1～3日」21.2%であった。

月に1日以上ボランティア活動・奉仕活動をしていた人（N=154人）に、活動をする日は1日に何時間くらいしているのか質問したところ、「1時間以下」が最も多く（35.1%）、次いで「2時間」29.2%、「3時間」16.2%、「4時間」10.4%という状況であった。

表VI-22 ボランティア活動の経験—過去1年間（%）

	した	していない	無回答
道路や公園の掃除など地域の環境を良くする活動	42.7	56.8	0.5
物を作って寄付したり、募金や古切手などを送る活動	20.0	79.2	0.8
高齢者や障がい者、子ども、福祉施設等に対するボランティア	8.3	90.8	1.0
地域の活動や趣味などの会の世話役、手伝い	27.2	71.9	0.9
民生委員、保護司、行政相談員などの公的な奉仕活動	3.8	95.2	1.0
その他の奉仕活動	7.5	79.4	13.1

N = 919

表VI-23 ボランティア活動の頻度—過去1年間（%）

毎日	週に4-6日	週に1-3日	月に1-3日	年に数回	不明／ 無回答
0.4	0.8	7.1	21.2	67.6	3.1

N = 524

表VI-24 ボランティア活動の時間—1日当たり（%）

1時間以下	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間以上	無回答
35.1	29.2	16.2	10.4	4.5	3.2	1.3

N = 154

3) 社会参加（表VI-25、表VI-26）

趣味や地域、職場など何らかのグループ・団体に参加している人は、74.0%であった。最も多いのが「町内会・自治会」48.2%で、次いで「同窓会」35.4%、「職場・職域関係のグループ・団体」24.4%、「趣味や学習の会、スポーツの会・グループ」22.2%であった。

1つでも参加していた人（N=680人）に、この1ヵ月ではどのくらい参加したか質問したところ、「この1ヵ月では参加していない」が最も多く（41.6%）、次いで「月に1回」28.1%、「月に2、3回」17.2%であった。

表VI-25 参加しているグループや団体の種類（%）

	参加している	参加していない	無回答
町内会・自治会	48.2	51.4	0.4
ボランティア・社会奉仕団体	11.5	87.4	1.1
趣味や学習の会、スポーツの会・グループ	22.2	76.9	0.9
宗教関係の会	6.5	92.7	0.8
職場・職域関係のグループ・組合	24.4	74.6	1.0
婦人団体・市民運動団体・消費者団体	2.2	96.8	1.0
政治団体やその後援会	5.4	93.7	0.9
退職者の会などの旧職場の集まり	14.1	84.9	1.0
同窓会	35.4	64.0	0.7
その他	2.0	70.1	28.0

N = 919

表VI-26 活動への参加頻度—過去1ヵ月（%）

週に2回以上	週に1回	月に2、3回	月に1回	参加していない	不明／無回答
5.1	6.3	17.2	28.1	41.6	1.6

N = 680

VII. 健康、保健・受療行動

1. 健康

1) 健康度自己評価（表Ⅶ－１）

健康状態の自己評価については、「よい」「まあよい」「ふつう」「あまりよくない」「よくない」という選択肢を用いて質問した。その結果、「よい」が31.6%、「まあよい」が25.1%であり、半数以上の人が良好と評価していた。

表Ⅶ－１ 健康度自己評価（％）

よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答
31.6	25.1	29.3	11.9	1.8	0.3

N=919

2) 日常生活上の困難（表Ⅶ－２）

「日用品の買い物」「銀行・郵便の預貯金の出し入れ」「バスや電車を利用した外出」のいずれ項目とも、「支障なくできる」が97.0%、97.0%、97.3%とほとんどの人が日常生活上の困難を抱えていなかった。

表Ⅶ－２ 日常生活上の困難（％）

	支障なく できる	少し困難	かなり 困難	わからない	無回答
日用品の買い物ができますか	97.0	1.6	0.9	0.2	0.3
銀行預金・郵便貯金のお出し入れが自分です ますか	97.0	1.4	0.7	0.5	0.4
バスや電車によって1人で外出できますか	97.3	1.2	0.9	0.3	0.3

N=919

3) 寝込んだ日数（表Ⅶ－３）

1ヶ月間で寝込んだ日数をきいたところ、「ない」と回答した人が94.1%であった。

表Ⅶ－３ 1ヶ月の間に寝込んだ日数の単純集計(%)

ない	1～3日	4～6日	7～14日	15日以上	わからない	無回答
94.1	4.0	0.3	0.4	0.3	0.2	0.5

N=919

4) うつの可能性 (表Ⅶ-4)

過去1週間について、気分が良い様子と気分が良くない様子の両方について、その頻度を質問した。項目は20項目で構成されており、うつのスクリーニングに用いられている。スクリーニングの基準に基づき判定すると、うつの可能性が疑われる人の割合が10.0%であった。

表Ⅶ-4 うつの可能性がある人 (%)

うつの可能性が高い	うつの可能性が低い	無回答
10.0	73.0	17.0

N=919

2. 通院、薬剤の服用

1) 病院・診療所などへの通院 (表Ⅶ-5)

現在、「病院や診療所に通っている」との回答は51.9%、「歯科医院に通っている」との回答は10.8%、「あんま、鍼灸、マッサージ、接骨院、整骨院に通っている」との回答は3.6%であった。どこにも「通っていない」との回答は40.9%であった。

表Ⅶ-5 通院状況 (複数回答) (%)

	はい	いいえ	無回答
(1)病院・診療所(医院)に通っている	51.9	47.0	1.1
(2)歯科診療所(歯科医院)・病院に通っている	10.8	88.1	1.1
(3)あんま、鍼灸、マッサージ、接骨院、整骨院に通っている	3.6	95.3	1.1
(4)通っていない	40.9	58.0	1.1

N=919

2) 通院理由の疾患 (表Ⅶ-6)

病院・診療所、歯科医院などに通院中(N=533人)の人に、どのような病気で通院しているのかをきくと、「高血圧」が40.9%と最も多く、「歯の病気(虫歯、歯槽膿漏)」20.1%、「糖尿病」14.6%、「腰痛、肩こり」11.8%、「自律神経失調症」「目・耳・鼻の病気」「高脂血症(高コレステロール症)」9.4%が続いた。

表Ⅶ－6 通院理由の疾患の単純集計（％）

	該当	非該当	無回答
高血圧症	40.9	57.6	1.5
脳卒中(脳出血、脳梗塞、くも膜下出血)	3.9	94.6	1.5
狭心症・心筋梗塞	4.5	94.0	1.5
その他の循環器系の病気	4.1	94.4	1.5
かぜ	1.9	96.6	1.5
気管支炎および肺炎	0.8	97.7	1.5
喘息	1.1	97.4	1.5
その他の呼吸器系の病気	1.3	97.2	1.5
胃・十二指腸潰瘍	4.5	94.0	1.5
肝炎・肝硬変	1.7	96.8	1.5
その他の消化器系の病気	1.7	96.8	1.5
歯の病気(虫歯、歯槽膿漏など)	20.1	78.4	1.5
うつ病	1.9	96.6	1.5
分裂病	0.0	98.5	1.5
神経症(ノイローゼ)	0.9	97.6	1.5
自律神経失調症	9.4	97.6	1.5
うつ状態	0.6	97.9	1.5
目・耳・鼻の病気	9.4	89.1	1.5
皮膚の病気	3.6	94.9	1.5
腎臓の病気	2.1	96.4	1.5
前立腺肥大症	1.9	96.6	1.5
その他の泌尿生殖器の病気	0.0	98.5	1.5
骨折	0.8	97.7	1.5
糖尿病	14.6	83.9	1.5
痛風	5.4	93.1	1.5
腰痛・肩こり	11.4	87.1	1.5
慢性関節リウマチ・関節炎	2.3	96.2	1.5
神経痛	1.5	97.0	1.5
ガン	3.0	95.5	1.5
高脂血症(高コレステロール症)	9.4	89.1	1.5
更年期障害	0.0	98.5	1.5
その他の婦人科の病気	0.0	98.5	1.5
その他	9.4	89.1	1.5
病名がわからない	0.4	98.1	1.5

N＝533

3) 精神薬の常用（表Ⅶ－7）

睡眠薬、精神安定剤、抗うつ剤あるいは神経症などの精神薬を「常用している」という人は6.3%、「常用していない」という人は93.0%であった。

表Ⅶ－7 精神薬の常用（%）

常用している	常用していない	無回答
6.3	93.0	0.7

N=919

3. 保健行動

1) 健康診断受診（表Ⅶ－8）

過去1年間で健康診断を「受けた」という人は79.8%、「受けなかった」という人は19.0%であった。

表Ⅶ－8 健康診断受診－過去1年間（%）

受けた	受けなかった	無回答
79.8	19.0	1.2

N=919

2) やせ、肥満度（表Ⅶ－9）

身長と体重に基づき、ボディマスインデックス（Body Mass Index : BMI）という体格指標を用いて、やせと肥満の割合を算出した。やせはBMI が18.5未満、肥満はBMI が25以上である。やせ、普通体重、肥満それぞれの割合は、2.8%、68.1%、28.6%であった。

表Ⅶ－9 やせと肥満の割合（%）

やせ	普通体重	肥満	無回答
2.8	68.1	28.6	0.4

N=919

3) 運動（表Ⅶ－10）

スポーツや運動を行う頻度について、1ヶ月の平均日数を質問したところ、「運動しない」人が50.2%であった。運動する人では「2～5日」が17.2%と最も多く、「6～10日」が9.2%、「21日以上」が8.3%と続いていた。

表Ⅶ－10 1か月当たりの運動頻度（%）

運動しない	1日	2～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21日以上	無回答
50.2	6.0	17.2	9.2	3.3	4.2	8.3	1.6

N=919

4) 飲酒頻度と量 (表Ⅶ-11、表Ⅶ-12)

酒(ビール、日本酒、ウイスキーなど)を週に何日飲むのかをきいたところ、「まったく飲まない」が23.9%、飲む人では、「毎日」が全体の36.1%と最も多く、「1日未満」が11.4%、「3～4日」が10.3%、「5～6日」が10.3%と続いていた。

酒を飲む人(N=696人)が1回に飲む量は、「1合未満」(1合=ビールビン1本、あるいはウイスキー・焼酎は小さいグラス2杯程度)が44.0%、続いて「2合未満」が34.2%、「3合未満」が14.1%であった。

表Ⅶ-11 飲酒頻度 (%)

まったく 飲まない	1日未満	1～2日	3～4日	5～6日	毎日	無回答
23.9	11.4	7.5	10.3	10.3	36.1	0.3

N=919

表Ⅶ-12 飲酒量 (%)

1合未満	1～2合未満	2～3合未満	3～4合未満	4合以上	無回答
44.0	34.2	14.1	2.2	2.6	2.9

N=696

5) 飲酒に関する経験 (表Ⅶ-13)

お酒を飲む人(N=696人)に飲酒に関する経験をきくと、「お酒を減らさなければと感じた」という項目に対して「あった」と回答した人が33.6%と最も多かった。その他の項目は、「飲酒について悪いとか申し訳なく感じた」が9.3%、「他の人が飲酒を批判するので気にさわった」が6.6%、「神経をおちつかせたり、二日酔をなおすために「迎え酒」をした」が6.1%と、その割合は少なかった。

表Ⅶ-13 飲酒に関する経験 (%)

	あった	なかった	無回答
お酒を減らさなければならぬと感じたこと	33.6	64.1	2.3
他の人があなたの飲酒を批判するので気にさわったこと	6.6	90.9	2.4
飲酒について悪いとか、申し訳ないと感じたこと	9.3	88.1	2.6
神経をおちつかせたり、二日酔をなおすために「迎え酒」をしたこと	6.1	91.5	2.4

N=696

6) 喫煙（表Ⅶ－14～表Ⅶ－16）

たばこを吸っている人は34.9%、吸っていない人は65.0%であった。たばこを吸っている人(N=319人)の1日の喫煙本数は、最小で1本、最大で60本、1日当たりの平均喫煙本数は19本であった。喫煙本数別でみると「16～20本」43.6%が最も多く、「6～10本」が18.8%、「21本以上」が18.2%と続いていた。

表Ⅶ－14 喫煙の有無（%）

はい	いいえ	無回答
34.9	65.0	0.1

N=919

表Ⅶ－15 喫煙本数—1日の平均本数

最小	最大	平均	標準偏差
1.0	60.0	19.0	8.89

N=319

表Ⅶ－16 喫煙本数—喫煙本数のカテゴリー別（%）

1本	2～5本	6～10本	11～15本	16～20本	21本以上
0.3	3.4	18.8	15.7	43.6	18.2

N=319

VIII. 生活と意識

1. 生活上の出来事

1) 過去1年間における生活上の出来事の経験（表Ⅷ－1）

生活上の出来事の経験割合は、過去1年間についてみると、「家族の重い病気やけが」が11.8%と最も多く、次いで「家族の死亡」が9.8%、「経済的に大きな損失」が4.2%、「家族の失業・仕事上の問題」が4.0%、「家庭内の不和」が3.2%であった。

表Ⅷ－1 生活上の出来事の経験—過去1年間（%）

	あった	なかった	無回答
家族の死亡	9.8	89.9	0.3
家族の重い病気やけが	11.8	87.7	0.5
家庭内の不和	3.2	96.4	0.4
家族の失業、仕事上の問題	4.0	95.4	0.5
経済的に大きな損失	4.2	95.3	0.4

N=919

2) 出来事による精神的影響（表Ⅷ－2）

過去1年間に生活上の出来事を経験した人に精神的影響についてきいたところ、「経済的に大きな損失」では、「かなり大変だった」と回答した人が41.0%、「少し大変だった」が43.6%と大きな影響がみられた。「家族の重い病気やけが」「家族の死亡」に関しても、「かなり大変だった」が36.1%と35.6%で大きな影響が見られた。

表Ⅷ－2 出来事による精神的影響（%）

	何とも なかった	少し 大変だった	かなり 大変だった	無回答	N
家族の死亡	21.1	42.2	35.6	1.1	90
家族の重い病気やけが	15.7	46.3	36.1	1.9	108
家庭内の不和	31.0	41.4	24.1	3.5	29
家族の失業、仕事上の問題	27.0	51.4	21.6	0.0	37
経済的に大きな損失	12.8	43.6	41.0	2.6	39

2. 自己効力感、自尊感情

1) 自己効力感（表Ⅷ－3）

「自分で立てた計画はうまくできる自信がある」「はじめはうまくいかないことでも、できるまでやりつづける」など自分に対する自信があるか否かについて質問した。自信がある割合（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）は、「いろいろやることがあるのはうれしい」（71.0%）、「はじめは上手くいかないことでも出来るまでやりつづける」（67.5%）、「自分で立てた計画は上手くできる自信がある」（57.0%）、「人と対立したときには、相手に自分の考えを分かってもらえるように努力する」（55.1%）が上位を占めた。

表Ⅷ－3 自己効力感（%）

	そう 思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない	わから ない	無回答
自分で立てた計画はうまくできる自信がある	21.4	35.6	29.8	7.8	4.4	0.5	0.4
はじめはうまくいかないことでも、できるまでやりつづける	28.8	38.7	23	6.2	2.1	0.7	0.5
重要な目標を決めてもめったに成功しない＊	5.8	13.2	36	27	16.3	1.2	0.5
いろいろやることがあるのは、うれしい	41.2	29.8	21.3	4.5	1.8	0.8	0.5
自分から友達をつくるのがうまい	13.1	22.6	35.5	17.7	9.9	0.7	0.5
人の集まりの中では、うまく振る舞えない＊	7.8	15.8	29.9	23.8	21.2	0.8	0.7
友達になりたい人でも友達になるのが大変ならば、すぐにやめてしまう＊	8.6	15.6	35.9	21.1	16.6	1.4	0.8
人と対立したときには、相手に自分の考えをわかてもらえるように努力する	24.4	30.7	27.1	10.1	6.2	0.8	0.8

N=919、＊：「そう思う」という回答は自己効力感が低いことを意味している。

2) 自尊感情（表Ⅷ－4）

自分を肯定的にみているか否か、すなわち自尊感情に関する質問をした。肯定的な回答（「大いにあてはまる」と「ややあてはまる」の合計）は、「全体として自分自身に満足している」が61.4%と最も多く、「私は少なくとも他人と同じくらいには価値のある人間だと思う」が55.8%、「私にはいくつも良い点がある」が47.2%と続いていた。

表Ⅷ－4 自尊感情（%）

	大いに あてはまる	やや あてはまる	どちらとも いえない	やや ちがう	まったく ちがう	わから ない	無回答
私にはいくつも良い点がある	9.4	37.8	42.2	6.3	1.7	2.3	0.3
私は少なくとも他人と同じくらいには価値のある人間だと思う	15.0	40.8	34.9	5.3	1.2	2.3	0.4
私には誇れるものがあまりないと思う＊	3.6	16.3	38.5	27.5	12.5	1.1	0.4
全体として、自分自身に満足している	15.9	45.5	28.7	6.1	2.6	0.8	0.4
私は全く役に立たないと時々思う＊	1.0	5.5	23.5	30.5	37.9	1.2	0.4

N=919、＊：「大いにあてはまる」という回答は自尊感情が低いことを意味している。

3. 生活満足度、生活不安

1) 生活満足度（表Ⅷ－5）

生活満足度は、「おおいに満足」「まあまあ満足」「どちらともいえない」「あまり満足していない」「まったく満足していない」の選択肢を用いて質問した。「まあまあ満足している」との回答が67.8%と最も多かった、続いて「大いに満足している」が12.7%であり、8割以上の人が生活に満足していると評価していた。

表Ⅷ－5 生活満足度（%）

おおいに満足している	まあまあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない	わからない／無回答
12.7	67.8	10.6	6.2	1.7	1.0

N=919

2) 生活に対する不安（表Ⅷ－6）

生活の不安について、「生きがいが持てなくなること」「生活費が足りなくなること」などの項目によって質問した。不安あり（「大いに不安」と「まあまあ不安」の合計）の回答が最も多かったのは、「寝たきりになったり、ぼけたりして、家族や周りの人に迷惑をかける」であった（72.3%）。次いで「生活費が足りなくなること」（61.4%）、「十分な介護サービスが受けられない」（52.6%）が多かった。

表Ⅷ－6 生活に対する不安（%）

	大いに不安	まあまあ不安	あまり不安はない	わからない／無回答
生きがいが持てなくなること	8.9	34.3	54.5	2.3
生活費が足りなくなること	19.6	41.8	36.2	2.4
社会との交流が少なくなること	8.2	39.8	49.9	2.0
ねたきりになったり、ぼけたりして、家族や周りの人に迷惑をかけること	30.1	42.2	24.3	3.4
老後に住むところなくなること	6.3	13.3	79.1	1.3
十分な介護サービスが受けられないこと	13.9	38.7	39.8	7.5

N=919

4. 職業・人生のための学習活動（表Ⅷ－7、Ⅷ－8）

人生設計のための講座受講、職業に役立つ資格取得、自己啓発などを行っているか否かについては、「就業に役立つような資格の取得」を「してきた」という回答が40.2%、「職業能力を高めるための自己啓発活動」を「してきた」という回答は35.3%であった。

「職業能力を高めるための自己啓発活動」をしてきた人（N=324人）にその頻度をきくと、「年に数回くらい」が42.6%と最も多く、「月に1回以上」が24.4%、「1年に1回より少ない」が16.4%、「1年に1回くらい」が15.1%の順であった。

表Ⅷ－7 講座の受講、資格取得、自己啓発活動（%）

	してきた	してこなかった	無回答
人生設計講座や定年前準備講座の受講	17.5	82.4	0.1
就業に役立つような資格の取得	40.2	59.6	0.2
職業能力を高めるための自己啓発活動	35.3	64.5	0.2

N=919

表Ⅷ－8 自己啓発活動の頻度の単純集計（%）

月に 1回以上	年に 数回くらい	1年に 1回くらい	1年に 1回より少ない	わからない ／無回答
24.4	42.6	15.1	16.4	1.5

N=324

Ⅸ. 社会関係

1. 社会的ネットワーク

1) 有力者とのつながり（表Ⅸ－１）

社会的ネットワークに関して、有力者とのつながりをみると、弁護士など法律の専門家が「親族や直接の知り合いにいる」という回答が13.9%であった。その比率は、企業の重役や社長では30.5%、地方議員・国会議員では15.7%であった。

表Ⅸ－１ 有力者とのつながり（%）

	親族や直接の 知り合いにいる	紹介してくれそうな 人ならいる	いない	無回答
弁護士など法律の専門家	13.9	15.9	70.0	0.2
企業の重役や社長	30.5	11.4	57.9	0.2
地方議員・国会議員	15.7	12.8	71.3	0.2

N = 919

2) 家族以外のネットワーク（表Ⅸ－２、表Ⅸ－３）

同居家族以外のネットワークをみると、親しくつきあっている親戚は「1～4人」という回答が39.8%で最も多く、次いで「5～9人」が28.3%であった。仕事で知り合った人も、「1～4人」が29.2%で最も多かった。近所づきあいをしている人も、「1～4人」が36.7%で最も多かったが、「いない」という回答も3割近くにのぼっていた。その他の友人では、「いない」という回答が27.2%で最も多く、次いで「1～4人」が27.0%であった。

「仕事で知り合った人」の中で、同じ会社や職場で働いている人数をみると、「1～4人」が34.8%で最も多く、「いない」という回答も4分の1近くであった。

表Ⅸ－２ 家族以外のネットワーク規模（%）

	いない	1～4人	5～9人	10～19人	20～49人	50人以上	無回答
親戚	11.8	39.8	28.3	14.1	4.5	1.0	0.5
仕事で知り合った人	14.5	29.2	24.3	16.2	7.6	7.8	0.4
近所づきあいをしている人	29.7	36.7	18.1	8.7	3.4	1.4	2.1
その他の友人(学校、趣味のサークルで知り合った人など)	27.2	27.0	18.3	16.1	5.0	3.9	2.5

N = 919

表Ⅸ－３ 「仕事で知り合った人」の中で同じ会社や職場で働いている人（%）

	いない	1～4人	5～9人	10～19人	20～49人	50人以上	無回答
同じ会社や職場で働いている人	24.0	34.8	19.2	10.3	5.3	3.6	2.9

N = 730

3) 友人・隣人との接触頻度（表Ⅸ－4）

友人や近所の人たちと何回くらい会ったり、電話をしたりしているかを尋ねたところ、「1週間に2回以上」が20.2%で最も多く、次いで「1か月に2, 3回」が18.8%であった。

表Ⅸ－4 友人・隣人との接触頻度（%）

1週間に 2回以上	1週間に 1回くらい	1か月に 2, 3回	1か月に 1回くらい	1か月に1回 より少ない	まったく ない	わからない	無回答
20.2	16.9	18.8	16.6	14.7	8.9	1.3	2.5

N = 919

2. 社会的サポート、否定的相互作用

1) 情緒的サポートの受領（表Ⅸ－5）

「あなたのまわりの人たちは、あなたに心配事や悩み事がある場合、どのくらい話を聞いてくれますか」という情緒サポートの受領について尋ねたところ、同居家族では「よく聞いてくれる」が41.5%で最も多かった。一方、別居の子どもや親戚では、「まあ聞いてくれる」が38.6%で最も多く、友人・近隣の人でも「まあ聞いてくれる」という回答が41.9%で最も多かった。しかし友人・近隣の人では、そもそも「心配事を話さない」という回答が3割を超えていた。

表Ⅸ－5 情緒的サポート（%）

	よく聞いて くれる	まあ聞いて くれる	あまり聞いて くれない	まったく聞いて くれない	心配事を 話さない	わからない	非該当	無回答
同居家族	41.5	32.8	3.9	0.9	8.7	0.9	10.4	1.0
別居の子どもや親戚	17.5	38.6	6.7	1.4	25.5	2.2	7.1	1.0
友人・近隣の人	12.2	41.9	7.1	0.9	31.3	3.2	2.6	0.9

N = 919

2) 手段的サポートの受領（表Ⅸ－6）

「あなたのまわりの人たちは、日頃の生活でちょっとした手助けが必要なときに手伝ってくれますか」という手段的サポートの受領についてみると、同居家族では「よく手伝ってくれる」が50.8%、「まあ手伝ってくれる」が30.3%であった。別居の子どもや親戚では、「まあ手伝ってくれる」が38.5%で、「よく手伝ってくれる」と「頼まない」という回答がどちらも2割程度であった。友人・近隣の人では、「まあ手伝ってくれる」が40.2%で、そもそも「頼まない」という回答も3割を超えていた。

表Ⅸ－6 手段的サポート（%）

	良く手伝 ってくれる	まあ手伝 ってくれる	あまり手伝 ってくれない	まったく手伝 ってくれない	頼まない	わからない	非該当	無回答
同居家族	50.8	30.3	2.1	0.3	4.6	0.7	10.2	1.1
別居の子どもや親戚	21.4	38.5	7.2	2.5	21.1	1.8	6.7	0.7
友人・近隣の人	12.7	40.2	8.2	2.0	30.6	3.3	2.3	0.9

N = 919

3) サポートの提供 (表IX-7)

「次の人たちが心配事や相談事について話したがっているときに、どの程度聞いてあげますか」というサポートの提供についてみると、同居家族では「たいてい聞いてあげる」が66.1%であった。別居の子どもや親戚になると、「たいてい聞いてあげる」という回答は約半数になり、友人・近隣の人では4割を切っていた。ただし、友人・近隣の人では、そもそも「話したがっていない」という回答が14.1%であった。

表IX-7 サポートの提供の単純集計(%)

	たいてい聞いてあげる	ときどき聞いてあげる	あまり聞いてあげない	まったく聞いてあげない	話したがっていない	わからない	非該当	無回答
同居家族	66.1	18.7	1.5	0.4	1.8	0.5	10.2	0.7
別居の子どもや親戚	49.9	27.6	3.5	0.7	9.4	2.3	6.2	0.4
友人・近隣の人	38.4	32.0	7.4	1.2	14.1	4.6	2.0	0.3

N = 919

4) 否定的相互作用 (表IX-8、表IX-9)

「次の人たちから、文句や小言を言われますか」という否定的相互作用についてみると、職場の人では「あまり言われぬ」が28.1%で最も多く、次いで「まったく言われぬ」が27.2%であった。同居家族になると、「ときどき言われる」が39.1%で最も多くなった。別居の子どもや親戚になると「まったく言われぬ」が39.3%、同様に友人・近隣の人でも「まったく言われぬ」が53.8%で最も多かった。

表IX-8 否定的相互作用(文句や小言を言われる) (%)

	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われぬ	まったく言われぬ	わからない	非該当	無回答
職場の人に	4.4	15.0	28.1	27.2	1.0	23.5	0.9
同居家族に	8.1	39.1	25.2	16.4	0.3	10.2	0.7
別居の子どもや親戚に	2.0	12.8	37.6	39.3	1.6	6.1	0.5
友人・近隣の人に	0.9	7.0	31.6	53.8	4.0	2.4	0.4

N = 919

続いて「次の人たちは、あなたをいらいらさせたり、怒らせたりすることがありますか」を尋ねると、職場の人では「あまりない」が26.9%で、「ときどきある」が26.1%であった。同居家族も、「あまりない」が34.1%でもっとも多く、次いで「ときどきある」が31.9%であった。別居の子どもや親戚では、「あまりない」が40.7%、「まったくない」が37.3%であった。友人・近隣の人になると、「まったくない」が47.3%で最も多くなっていた。

表IX-9 否定的相互作用(いらいらさせたり、怒らせたりする) (%)

	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	わからない	非該当	無回答
職場の人は	4.9	26.1	26.9	17.4	0.5	23.2	1.0
同居家族は	2.7	31.9	34.1	20.0	0.4	10.1	0.8
別居の子どもや親戚は	0.7	13.5	40.7	37.3	1.2	6.1	0.5
友人・近隣の人	0.2	9.2	37.3	47.3	3.0	2.3	0.5

N = 919

X. 住宅・階層

1. 住宅

1) 居住形態（表X－1）

居住形態は、「持ち家の一戸建て」が81.4%で最も多く、次いで「賃貸住宅」が12.5%であった。

表X－1 居住形態（%）

持ち家 （一戸建て）	持ち家 （分譲マンションなど）	賃貸住宅	給与住宅	その他
81.4	4.7	12.5	0.8	0.7

N = 919

2) 居住年数（表X－2）

居住年数は、「30年以上」が41.0%で最も多かった。居住年数が5年未満の人は、1割程度であった。

表X－2 居住年数（%）

1年 未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～20年 未満	20～30年 未満	30年以上	無回答
2.4	4.1	3.6	6.4	17.5	24.8	41.0	0.1

N = 919

2. 家計

1) 暮らし向き (表X-3)

現在の暮らし向きを総合的に評価してもらうと、「普通」が66.3%で最も多く、「やや苦しい」が14.8%、「ややゆとりがある」が13.2%であった。

表X-3 暮らし向き (%)

大変 苦しい	やや 苦しい	普通	やや ゆとりがある	大変 ゆとりがある	わからない/ 無回答
3.5	14.8	66.3	13.2	1.5	0.8

N = 919

2) 年金の受給 (表X-4、表X-5)

年金受給資格の有無に関して、公的年金(国民年金、厚生年金、共済年金、労災年金、恩給等)を「受給できる」人は92.5%であった。一方、企業年金を受給できる人は32.2%であった。

表X-4 年金受給資格の有無 (%)

	受給できる	受給できない	わからない	無回答
(1)公的年金	92.5	5.7	1.5	0.3
(2)企業年金	32.2	47.3	8.9	11.5

N = 919

続いて、年金の受給開始年齢を尋ねたところ、公的年金では「65歳」が42.7%で最も多く、60歳が18.5%であった。一方、企業年金では「60歳」が38.5%で、「65歳」が26.0%であった。

表X-5 年金受給開始年齢 (%)

	60歳未満	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳以上	わからない	N
公的年金	1.3	18.5	11.2	9.2	7.4	3.9	42.7	1.1	4.8	850
企業年金	3.0	38.5	13.9	5.1	2.7	3.7	26.0	0.3	6.8	296

3) 年収 (表X-6)

本人と配偶者の合計年収をみると、「180～300万未満」が14.9%で最も多く、次いで「300～400万未満」が11.3%であった。「1,000万以上」の人は1割程度であった。

表X-6 年収(本人と配偶者の合計) (%)

120万 未満	120～ 180万 未満	180～ 300万 未満	300～ 400万 未満	400～ 500万 未満	500～ 600万 未満	600～ 800万 未満	800～ 1,000万 未満	1,000万 以上	わからない/ 無回答
7.0	5.4	14.9	11.3	9.2	7.9	7.5	7.7	10.2	18.7

N = 919

4) 貯蓄（表X－7）

本人と配偶者の合計貯蓄額（預貯金、信託、債券、株式など）をみると、4分の1余りの人が「無回答」であったが、「100万未満」が13.9%、「100～500万未満」が12.4%であった。

表X－7 貯蓄（本人と配偶者の合計）（%）

100万未満	100～500万未満	500～1,000万未満	1,000～2,000万未満	2,000～3,000万未満	3,000万以上	わからない／無回答
13.9	12.4	8.9	9.7	5.7	7.6	41.8

N = 919

5) ローンの有無（表X－8）

「100万円以上の借入金、住宅ローン」の有無を尋ねたところ、「ある」人が25.0%であった。

表X－8 ローンの有無（%）

ある	ない	無回答
25.0	68.6	6.4

N = 919

3. 学歴（表X－9）

学歴は、「高校」卒が41.5%で最も多く、次いで「大学」卒が34.4%であった。

表X－9 学歴（%）

中学	高校	専門	短大・高専	大学	大学院	その他	無回答
8.4	41.5	6.4	5.0	34.4	3.2	1.0	0.2

N = 919

XI. 基本属性

1. 年齢（表XI－1）

5歳区分でまとめると、55～59歳が43.8%、60～64歳が56.3%であった。

表XI－1 年齢階級（%）

55～59歳	60～64歳
43.8	56.3

N = 919

單純集計結果

(単位: %、N=919)

[現在の仕事]

Q1. 現在あなたは収入を伴う仕事(家族従業、パート・アルバイトを含む)をしていますか。

1つだけしている	2つ以上している (副業がある)	していない	無回答
78.5	6.0	15.6	0.0

Q2. 実際に仕事につけるかどうかは別として、収入のある仕事につきたいと思いますか。

つきたい	つきたくない	わからない	無回答
36.4	41.3	18.2	4.2

Q3. あなたは過去に収入を伴う仕事をしたことはありますか。

44 歳過ぎまで仕事をしていた	44 歳前に退職	仕事をしたことがない
95.1	4.9	0.0

Q39 ✓

Q29 ✓

Q4. (1)あなたの主な仕事(本業)は次のどれにあたりますか。

正規従業	パート・ アルバイト	嘱託	派遣社員	契約社員	自営業主	家族従業	内職	その他	無回答
56.4	9.9	8.8	0.9	1.2	21.6	0.5	0.1	0.5	0.0

(2) (勤め人の場合)あなたが現在勤務している企業全体の事業の種類は何ですか。出向や転籍の場合は現在の企業(出向・転籍先)についてお答えください。

(自営業の場合)あなたの事業の種類は何ですか。

(職業・産業分類コード作成のための質問であるため、結果は記載せず)

(3) そこであなたが主に行っている仕事の内容を、具体的にお答えください(経理事務、食料品の販売、アパートの管理人、大工、和服の仕立て、牛乳配達などのように具体的に)。

(職業・産業分類コード作成のための質問であるため、結果は記載せず)

(4) 正規従業員は、会社全体で何人くらいですか。パート・アルバイトの人は従業員数から除きます。自営業の場合はご自分、家族従業者も含めてお答えください。

わからない／無回答	3.1
官公庁	10.4
1000人以上	14.0
500～999人	5.7
300～499人	4.1
100～299人	10.4
50～99人	5.4
30～49人	5.7
10～29人	11.2
5～9人	6.2
2～4人	12.5
1人	11.2

(5) 役職はありますか。(職業・産業分類コード作成のための質問であるため、結果は記載せず)

(6) (1)～(5)の内容から、調査要領の「職業リスト」と「産業分類」を参照して、該当する

職業名と職業コードおよび産業分類コードを記入する。

(コードが多数に上るため、結果は削除)

[被雇用者]

Q5. 今の会社は他の会社からの出向先、または転籍先ですか。

出向先	転籍先	どちらでもない	無回答
3.7	5.0	88.3	3.0

Q6. 次のことから、あなたの職場にどのくらいあてはまりますか。

	非常に あてはまる	まあ あてはまる	あまり あてはまらない	まったく あてはまらない	わからない
(1)ある年齢になると、左遷させられる	1.7	7.2	14.7	72.8	3.7
(2)ある年齢になると、昇給が停止する	25.9	23.4	8.7	36.2	5.8
(3)年長の人の意見や考えが無視されがちである	1.7	4.7	33.9	55.1	4.7
(4)職場には、60歳よりも前に退職すべきだという雰囲気がある	0.5	2.7	19.0	73.6	4.2

Q7. この3年間では、あなたの会社(官公庁)の従業員数は削減されましたか。

削減された	削減されなかった	わからない／無回答
15.7	73.0	11.3

→ Q9 へ

Q8. 削減されたのは会社(官公庁)全体の従業員数のうち、どのくらいの割合ですか。

5%未満	5～9%	10～14%	15%以上	わからない
50.0	21.3	8.5	7.4	12.8

Q9. あなたの会社や職場には、中高年齢者が利用できる次のような施策や制度がありますか。

	ある	ない	わからない
(1)働きやすい労働時間の設定	53.9	40.2	5.8
(2)残業規制や残業免除	37.6	55.9	6.5
(3)作業設備や環境の改善	54.1	36.9	9.0
(4)身体的に無理のない仕事に変更	49.7	43.9	6.3
(5)退職後の生活設計の講座の開催や受講料の援助	25.7	66.4	7.9
(6)技術修得のための講座や資金の援助	41.1	51.9	7.0
(7)健康・体力づくりの機会や場の提供、お金の補助	31.7	61.8	6.5
(8)定年の引き上げ	28.9	62.4	8.7
(9)再雇用(再任用制度)	69.1	22.7	8.1
(10)再就職先の斡旋	17.5	73.3	9.1
(11)介護休業制度	41.4	44.2	14.4

Q10. あなたの勤務している会社(官公庁)について、どのように感じていますか。

	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかと いえばそう思 わない	そう 思わない	わからない ／無回答
(1) 他の会社ではなく、この会社を選んで 本当によかったと思う	39.6	27.9	24.4	3.8	2.8	1.5
(2) この会社で自分をささげている	22.0	26.2	30.4	10.4	9.3	1.7
(3) 友人に、この会社がすばらしい働き場所 であるといえる	16.5	24.4	39.2	10.9	7.5	1.5
(4) この会社の発展のためなら、 人並み以上の努力を喜んでするつもりだ	21.0	30.2	31.1	9.2	6.7	1.8
(5) この会社が気に入っている	29.5	36.7	24.4	4.0	3.7	1.7
(6) この会社の人間であることをいつも意識し ている	40.2	28.9	19.4	5.2	4.5	1.8

Q11. この1年以内に、あなた自身の仕事に関する事で、次のような出来事がありましたか。

	なかった	あった	わからない／ 無回答
(1) 重大な仕事上のミスをした	4.5	94.2	1.3
(2) あなたの業績が上がらなかった、 ノルマが達成できなかった	9.5	89.1	1.3
(3) 退職を強要された	1.2	97.5	1.3
(4) 左遷された	0.8	97.8	1.3
(5) 転勤、配置転換	7.7	91.0	1.3
(6) 上司、同僚、部下とのトラブル	9.2	89.3	1.5
(7) 仕事が原因で大きな病気やケガをした	4.2	94.5	1.3

SQ. あなたにとっての精神的な大変さはどの程度でしたか。

	かなり大変	少し大変	なんとも なかった
(1) 重大な仕事上のミスをした	33.3	33.6	11.1
(2) あなたの業績が上がらなかった、ノルマ が達成できなかった	15.8	59.6	24.6
(3) 退職を強要された	42.9	14.3	42.9
(4) 左遷された	20.0	20.0	60.0
(5) 転勤、配置転換	9.1	38.6	52.3
(6) 上司、同僚、部下とのトラブル	25.9	38.9	35.2
(7) 仕事が原因で大きな病気やケガをした	50.0	16.7	33.3

Q12. あなたの会社の定年は、あなたの職種では何歳ですか。

～60 歳	61～65 歳	66 歳以上	定年なし	わからない ／無回答
53.1	20.7	2.5	21.2	2.5

Q13 現在の仕事からの転職を考えていますか。

すぐにでも 転職したい	いい条件があれば 転職したい	転職は考え ていない	わからない／ 無回答
1.0	14.0	83.8	1.2

Q14. 勤務先までの通勤時間は、片道でだいたいどのくらいですか。

30 分未満	30 分～ 1 時間未満	1 時間～ 1 時間 30 分未満	1 時間 30 分以上	特定不能 ／無回答
52.6	27.9	12.7	4.8	2.0

Q15. 昨年と比べて、給料は増えましたか、減りましたか。

減った	変わらない	増えた	わからない／ 無回答
20.0	59.3	18.5	2.2

[就業者全員]

Q16. 先月(平成 28 年 9 月)の仕事についてうかがいます。

(1) 先月は何日働きましたか。勤めの人は休日労働も含めます。

12 日以下	13～16 日	17～20 日	21～24 日	25 日以上	わからない／ 無回答
7.5	6.1	37.2	25.0	23.7	0.5

(2) 労働時間は、平均して 1 週間にどれくらいでしたか。昼休みは除いてお答えください。

残業やサービス残業も含めます。

30 時間以下	31～40 時間	41～50 時間	51 時間以上	わからない／ 無回答
18.2	34.9	30.3	15.1	1.5

SQ.(勤め人について) そのうち、残業や休日労働したのは何時間でしたか。サービス残業も含めます。

なし	1～10 時間	11～20 時間	21 時間以上	所定の労働時間 が決まっていない	わからない／ 無回答
53.8	27.9	7.3	3.5	5.5	2.0

(3) 先月に午後 10 時から午前 5 時の間にかかる深夜の勤務は何回ありましたか。

なし	1～5 回	6～10 回	11～15 回	16～20 回	20 回以上	わからない／ 無回答
86.1	5.8	3.5	1.5	0.5	2.1	0.5

Q17. 仕事のなかで次のようなことがどのくらいありますか。

	だいたい いつも	たまに ある	ほとんど ない	わからない／ 無回答
(1)重いものを運んだり持ち上げたりする	20.1	25.1	54.6	0.1
(2)かがんだり、ひざまずいたり、無理な姿勢での作業	21.6	22.3	55.9	0.1
(3)高熱、寒冷、多湿、騒音、高所での作業	14.0	16.0	69.7	0.3
(4)顧客と交渉したり、顧客からの苦情を聞く	21.1	30.7	47.9	0.3
(5)精密な作業、車の運転など緊張する作業	22.7	18.0	58.9	0.4
(6) コンピューターなど電子機器(パソコン、タブレットなども含む)を操作する作業	45.1	15.9	38.8	0.3

Q18. 次のことはあなたの仕事にどのくらいあてはまりますか。

	とても あてはまる	まあ あてはまる	あまり あてはまらない	まったく あてはまらない	わからない／ 無回答
(1)新しいことを覚えたり学んだりすることが求められる	27.6	35.7	22.4	13.7	0.7
(2)高いレベルの技術や知識を必要とする	24.6	33.8	26.8	14.2	0.7
(3)あなた自身の創意・工夫が求められる	28.1	43.2	18.2	9.9	0.6
(4)同じことを何度も繰り返すことが求められる	30.2	33.6	24.7	10.1	1.4
(5)どのように仕事をするかを、自分で自由に決めることができる	38.1	31.7	17.4	12.4	0.4
(6)その日にどれくらい仕事をするかは、自分の責任で決められる	41.5	28.9	15.6	13.5	0.5
(7)とても速く働くことが必要だ	10.7	30.3	38.3	19.5	1.3
(8)とても一生懸命に働くことが必要だ	25.6	43.0	23.1	7.0	1.2
(9)あまりに多すぎる仕事をこなすことを要求される	7.7	23.6	42.8	24.9	1.1
(10)仕事をこなす時間的余裕がある	20.4	48.2	23.3	7.2	0.9
(11)仕事上、まちまちに食い違う指示や提案が出されることがある	6.2	22.3	38.8	32.1	0.7
(12)学校で学んだ技能や知識を仕事で活用できる	15.2	27.3	33.1	23.6	0.8
(13)自分の得意なことをする機会がある	22.7	40.2	22.4	13.9	0.8
(14)以前の経験や教育・訓練で得た技能を使える	33.6	40.1	14.6	11.1	0.7

Q19. 現在の仕事について、どのように感じていますか。

	そう 思う	どちらかとい えばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう 思わない	わからない ／無回答
(1)私の目標のほとんどは、仕事に関するものだ	23.2	22.7	26.0	11.3	16.0	0.8
(2)私の生活は、今の仕事抜きでは語れない	29.1	25.0	20.9	11.2	13.1	0.7
(3)私にとって、仕事は今の自分の一部分にすぎない	26.7	29.1	21.3	12.2	10.1	0.6

Q20. 仕事のことで心配事や悩み事があった場合、次の人たちはどの程度話を聞いてくれますか。

	よく 聞いてくれる	まあ 聞いてくれる	あまり 聞いてくれない	まったく 聞いてくれない	わからない／ 無回答	非該当
(1)上司	22.3	36.6	7.3	2.8	3.3	27.6
(2)同僚・部下	19.3	46.8	7.5	3.7	1.1	18.9
(3)家族・友人・親戚	32.7	45.1	7.7	3.5	4.5	6.4

Q21. 仕事をやりとげるうえで、次の人たちはどの程度助けになりますか。

	大いに 助けになる	まあ 助けになる	あまり 助けにならない	まったく 助けにならない	わからない／ 無回答	非該当
(1)上司	20.0	36.9	12.2	2.8	1.4	27.6
(2)同僚・部下	27.8	42.5	9.1	2.3	1.7	16.5
(3)家族・友人・親戚	25.1	36.7	19.3	12.5	2.1	4.3

Q22. 家庭や個人的な都合で仕事を休んだり、遅刻、早退することに、次の人たちはどの程度理解がありますか。

	非常に 理解がある	まあ 理解がある	あまり 理解がない	まったく 理解がない	わからない／ 無回答	非該当
(1)上司	32.7	34.8	3.0	0.6	2.1	26.8
(2)同僚・部下	34.8	41.9	2.4	0.5	2.5	17.9

Q23. 仕事と家庭生活との関係についてうかがいます。次のことがどのくらいあてはまりますか。

	かなり あてはまる	まあ あてはまる	あまり あてはまらない	まったく あてはまらない	わからない／無 回答
(1)仕事や仕事上のつきあいが忙しくて、家の 用事や家族との会話が十分にできない	3.5	19.1	43.4	33.0	1.1
(2)家にいても仕事や仕事上の悩みが頭から 離れなくて、家族のことがおそろそそになる	2.2	15.7	43.6	37.2	1.3
(3)家のことに時間がかかるので、仕事に支障 をきたすことがある	1.3	5.2	40.7	51.9	0.9
(4)家のことや家族のことが気になって、仕事 に集中できないことがある	0.5	5.8	40.3	52.3	1.1

Q24. この1年間では、仕事が原因でケガをしたことがありましたか。通勤災害は含みません。

(ある場合)どの程度のものでしたか。複数回ある場合には、一番重いケガについてお答えください。

ない	あるが、医師の手当ては 受けなかった	医師の手当ては受けたが、 会社を休むことはなかった	少なくとも1日以上仕 事を休むケガをした	後遺症が残るような ケガをした	わからない／無 回答
92.9	2.3	1.7	1.9	0.3	0.9

Q25. 仕事に関する以下の点について、あなたは満足していますか。

	おおいに 満足	まあまあ 満足	どちらとも いえない	あまり 満足していない	まったく 満足していない	わからない／ 無回答
能力の活用・発揮	16.6	53.1	23.2	4.3	2.1	0.7
職場の人間関係	13.5	53.7	21.9	4.3	1.7	4.9
賃金・収入	5.9	37.4	26.3	21.9	7.7	0.7
就業時間・休日	13.1	51.2	19.8	12.4	3.0	0.6
仕事の内容・やりがい	16.2	56.7	18.4	6.4	1.8	0.4
作業設備・労働環境	11.0	52.6	21.6	11.7	2.4	0.6

Q26. 全般的にいて、自分の仕事にどれくらい満足していますか。

おおいに 満足	まあまあ 満足	どちらとも いえない	あまり 満足していない	まったく 満足していない	わからない／ 無回答
13.0	67.1	13.3	5.0	1.3	0.3

Q27. あなたが、現在の職を定年や自己都合以外の理由で失う可能性は、どのくらいあると思いますか。

非常に ありうる	いづらか ありうる	あまり ありそうでない	ほとんど ありそうにない	わからない／ 無回答
5.3	18.7	25.6	46.5	3.9

Q28. 現在の仕事についたのはいつですか。それは何歳のときですか。再雇用の場合は、再雇用の時期とします。現在、出向や転籍先にいる場合は、出向・転籍の時期とします。

25 歳以前	25～44 歳	45～64 歳
31.3	26.7	42.0

[45 歳以上での転職経験者]

SQ1. 今の仕事はどのような方法で見つけましたか。1つだけ選んでください。

公共機関の紹介で	民間の職業紹介機関の紹介で	前の勤め先の斡旋・再雇用で	出向元の会社の指示で	新聞の求人広告などを利用して	家族・親戚の紹介で	仕事上の友人・知人の紹介で	仕事以外の友人・知人の紹介で	その他	わからない／無回答
12.6	2.1	27.3	4.6	9.8	2.8	20.9	7.7	12.0	0.3

SQ2. 今の仕事を見つけるために、どのくらいの期間、求職活動をしましたか。

求職活動はしなかった	一ヶ月未満	一～三ヶ月未満	三～六ヶ月未満	六～九ヶ月未満	九ヶ月～一年未満	一年以上	わからない／無回答
60.1	14.4	10.1	6.1	1.8	2.8	2.5	2.1

SQ3. 全体的にみて、前の仕事と比べて、現在の仕事はよくなりましたか。

良くなった	変わらない	悪くなった	わからない
31.0	46.0	20.6	2.5

SQ4. 前の仕事から現在の仕事に移って、賃金または所得はどう変わりましたか。

3割以上 増加	1～3割未満 の増加	1割未満 の増減	1～3割未満 の減少	3～5割未満 の減少	5割以上の 減少	わからない／ 無回答
4.6	9.2	15.3	24.2	14.4	31.6	0.6

[前職]

Q29. 前の仕事にはいつからいつまで就いていましたか。複数ある場合は、一番最後に辞めた仕事についてお答えください。前の仕事が出向や転籍先の場合は、出向・転籍先のことについてお答えください。

10年未満	10～19年	20～29年	30～39年	40年以上	無回答
23.9	10.7	13.2	32.0	11.9	8.3

Q30. (1) あなたの前の仕事は、次のどれにあたりますか。

正規従業員	パート	嘱託	派遣社員	自営業主	その他	無回答
84.9	5.1	1.5	1.3	6.6	0.2	0.6

(2) (勤め人の場合)前にあなたが勤務していた企業全体の事業の種類は何でしたか。

(自営業の場合)前にあなたがしていた事業の種類は何でしたか。

(職業・産業分類コード作成のための質問であるため、結果は記載せず)

(3) あなたのその時の仕事の内容を、具体的にお答えください。

(職業・産業分類コード作成のための質問であるため、結果は記載せず)

(4) 正規従業員は、会社全体で何人くらいでしたか。パート・アルバイトの人は従業員数から除きます。自営業の場合はご自分、家族従業者も含めてお答えください。

(職業・産業分類コード作成のための質問であるため、結果は記載せず)

(5) 役職はありましたか。(あったと答えた人に)もっとも高い役職は何でしたか。

(職業・産業分類コード作成のための質問であるため、結果は記載せず)

(6) (1)～(5)の内容から、調査要領の[職業リスト]と[産業分類]を参照して、該当する職業名と職業コードおよび産業分類コードを記入する。

(職業・産業分類コードが多数なため、結果は省略)

Q31. その仕事を辞めたのは、どのような理由からですか。(M. A.)

定年のため	早期退職優遇制度を利用して	事業所の閉鎖や会社倒産	解雇や人員整理のため	契約期間満了のため	会社や仕事に対する不満のため	よりよい仕事へのキャリアアップのため	結婚のため	家族介護のため	その他の家庭の事情	自分の健康上の理由	出向・転籍となったため	その他	わからない／無回答
35.2	7.7	10.9	4.1	1.7	7.2	5.5	0.9	4.1	3.8	13.2	3.6	10.2	0.9

[最長職]

Q34. (1) あなたがもっとも長くしていた仕事は次のどれにあたりますか。

正規従業員	パート	嘱託	派遣社員	自営業主	その他	無回答
77.4	2.4	2.3	0.3	16.5	0.7	0.3

(2) (勤め人の場合)あなたがもっとも長く勤務していた企業全体の事業の種類は何でしたか。

(自営業の場合)あなたがもっとも長くしていた事業の種類は何でしたか。

(職業・産業分類コード作成のための質問であるため、結果は記載せず)

(3) あなたの仕事の内容を、具体的にお答えください。一番重要な職務は何でしたか。

(職業・産業分類コード作成のための質問であるため、結果は記載せず)

(4) 正規従業員は、会社全体で何人くらいでしたか。パート・アルバイトの人は従業員数から除きます。自営業の場合はご自分、家族従業者も含めてお答えください。

1人	2人	5人	10人	30人	50人	100人	300人	500人	1000人以上	官公庁	答	わからない／無回答
7.5	9.6	6.9	9.5	5.3	6.0	9.0	4.0	5.9	19.5	14.6	2.2	

(5) 役職はありましたか。(あったと答えた人に)もっとも高い役職は何でしたか。

(職業・産業分類コード作成のための質問であるため、結果は記載せず)

(6) (1)～(5)の内容から、調査要領の〔職業リスト〕と〔産業分類〕を参照して、該当する職業名と職業コードおよび産業分類コードを記入する。

(職業・産業分類コードが多数なため、結果は省略)

Q35. もっとも長くしていた仕事にはいつからいつまで就いていましたか。

10 年未満	10～20 年未満	20～30 年未満	30～40 年未満	40 年以上	無回答
2.2	13.8	22.1	43.6	16.3	2.0

Q36. もっとも長く勤めていた会社は、現在の会社の出向・転籍元ですか。

出向元	転籍元	どちらでもない	無回答
3.9	9.1	84.7	2.3

注) 前職、現職が最長職でない人に限定。

Q37. あなたはこれまでにいくつの勤務先に勤めたことがありますか。パート、アルバイトでもかまいません。
ただし、在学時は除きます。自営業・家族従業も勤務先の1つと数えます。

1 つ	2 つ	3 つ	4 つ	5 つ以上	無回答
34.3	27.9	15.9	9.0	12.1	0.9

Q38. これまでに定年退職を経験したことがありますか。早期退職優遇制度を利用した人も含みます。

ある	ない	無回答
27.5	71.5	1.0

全員に

Q39. 高年齢者の雇用を安定させる目的で、2006 年(平成 18 年)に定年の引き上げや継続雇用制度の導入のための法律改定が行われました。さらに、2013 年(平成 25 年)には、原則、希望者全員が継続雇用制度を利用できるように、継続雇用の対象をグループ企業まで拡大する改定が行われました。あなたは、このように高年齢者の雇用を安定させることを目的とした法律の改定が行われたことをご存じでしたか。

内容まで知っている	改定は知っている	知らない	無回答
31.2	43.9	23.2	1.7

Q40-1. あなたは、今までに職場の継続雇用制度を利用したことはありますか。

利用したことがある	継続雇用制度を利用したことはない	職場に制度がない	わからない／無回答
12.3	65.5	11.9	10.3

SQ1. この経験はあなたにとってよかったですか。悪かったですか。

良かった	悪かった	無回答
91.2	5.3	3.5

Q40-2. 職場の定年延長によって、あなた自身の定年時期が先に延びたという経験はありますか。

経験がある	定年時期が延びた 経験はない	定年の延長がな されていない	わからない／ 無回答
7.7	68.8	13.1	10.4



SQ1. この経験はあなたにとってよかったですか。悪かったですか。

良かった	悪かった	無回答
91.5	7.0	1.4

Q41. あなたは、仕事の間があるとすれば、何歳くらいまで収入を伴う仕事をしたいと考えていますか。

現在の職場を退職した後のことも含めてお答えください。

すぐ辞めたい	55～60 歳	61～65 歳	66～70 歳	71～75 歳	76～80 歳	81 歳以上	無回答
5.9	3.7	40.2	31.2	6.3	3.7	1.9	7.1



SQ. 61歳以後、どのような職務形態の仕事をしたいとお考えですか。1つだけお答えください。

普通勤務	短時間勤務	任意の仕事	自営業	家業手伝い	その他	わからない
38.7	30.9	3.4	21.6	1.3	2.6	1.4

Q42. あなたは現在何か求職活動をしていますか。

している	していない	無回答
2.3	97.4	0.3



SQ. いつからしていますか。

1 年未満	1～5 年	無回答
78.9	21.3	9.5

[配偶者]

Q43. 配偶者はいらっしゃいますか。

いる	離別	死別	未婚	無回答
80.4	6.9	2.0	10.7	0.1



Q44. 配偶者の年齢は、9 月末でいくつですか。

49 歳以下	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	無回答
6.4	59.3	33.3	0.5	0.5

Q45. 配偶者が最後に卒業された学校はどちらですか。

中学	高校	専門	短大 高専	大学	大学院	その他	無回答
4.9	49.3	9.3	19.6	14.5	0.8	0.3	1.4

Q46. 配偶者の現在の健康状態はいかがですか。

よい	まあよい	ふつう	あまり よくない	よくない	わから ない	無回答
47.2	22.1	22.6	6.4	1.1	0.4	0.3

Q47. 現在、配偶者は収入を伴う仕事をしていますか。(家族従業、パート・アルバイトを含む)。

あり	なし	無回答
63.3	36.1	0.5

↓
S Q. その仕事は、次のどれにあたりますか。

正規 従業	パート	嘱託	派遣 社員	自営業主	家族 従業	内職	その他	無回答
27.1	49.6	3.0	0.4	5.3	12.6	0.9	0.9	0.2

Q48. 配偶者との関係についてうかがいます。

	そう 思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	無回答
(1)配偶者と話をするのが楽しい	49.7	30.7	16.0	1.8	1.4	0.5
(2)配偶者といると気持ちがやすらぐ	51.6	29.9	14.6	2.6	0.7	0.7
(3)何かしようとするとき、励ましてくれる	45.7	33.0	16.0	3.4	1.2	0.7
(4)結婚生活は我慢することが多い	14.3	24.1	23.1	27.9	9.7	0.8
(5)お互いの考えをあまり話し合わない	6.4	12.0	21.5	38.3	21.1	0.7

[家族]

Q49. あなたには子どもがいますか。同居別居は問いません。(いる場合)何人ですか。

いない	1 人	2 人	3 人	4 人以上	無回答
18.2	11.8	44.5	21.8	3.7	0.1

SQ1. そのうち、経済的に面倒を見ている子どもはいますか。(いる場合)何人ですか。

いない	1 人	2 人	3 人	4 人以上	無回答
69.5	21.7	7.3	0.9	0.3	0.3

SQ2. では、結婚している子どもはいますか。(いる場合)何人ですか。

いない	1 人	2 人	3 人	4 人以上	無回答
44.3	30.1	19.4	5.1	0.7	0.4

Q50. 現在、同居している(同じ敷地内に住んでいる)人は、あなたを含めて合計何人ですか。

入院されている方も含めてお答えください。

1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人以上	無回答
10.4	30.1	29.1	16.1	8.3	5.7	0.3

SQ. あなたと同居している方は、次のうちどなたですか。(M. A.)

配偶者	子ども	子どもの 配偶者	実父	実母	義父	義母	祖父	祖母	孫	その他
88.3	56.8	4.8	9.0	20.5	1.3	2.8	0.0	0.5	6.1	3.4

Q51. この1年間に、家族や親戚の中で介護や看護が必要な方はいましたか。

いた	いない	無回答
33.3	66.4	0.3

SQ1. それはどなたですか。(M. A.)

実の親	義理の 親	兄弟 姉妹	その他
64.4	28.1	1.3	12.7

SQ2. この1ヵ月では、あなたはその方のお世話をしましたか。大体どのくらいしましたか。

ちょっとしたお手伝いや認知症などのための見守りも含めてお答えください。

毎日	週に 4-6日	週に 1-3日	月に 1-3日	年に 数回	全くし て いない	死亡し た	無回答
18.3	2.3	14.4	12.7	8.2	35.6	7.8	0.7

SQ3. した日は、1日に何時間くらいしましたか。

1時間 以下	2時間	3時間	4時間	5時間 以上	無回答
47.9	19.9	14.4	5.5	11.0	1.4

SQ4. あなた以外に、その方のお世話をしている人はいますか。(いる場合)それはどなたですか。(M.A.)

いない	家族、親戚、 近隣	医療・福祉 の専門家	その他
12.9	66.7	39.2	4.1

Q52. 家族や親戚、自分のために、家事や買い物、子守り、介護をこの1年間にしましたか。大体どのくらいしましたか。家事には、草取りや水やり、車や自転車の手入れ、家具の修繕なども含みます。

毎日	週に 4-6日	週に 1-3日	月に 1-3日	年に 数回	全くし て いない	無回答
22.1	5.5	24.7	13.1	8.6	25.4	0.7

SQ. した日は、1日に何時間くらいしましたか。

1時間 以下	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間 以上	無回答
56.9	23.0	9.8	4.0	2.3	3.2	0.8

[社会活動]

Q53. 友人や近所の人のために、何らかの手伝いをこの1年間にしてあげましたか。例えば、家事や買い物、用事の手伝い、介護・看病などです。大体どのくらいしましたか。

毎日	週に 4-6 日	週に 1-3 日	月に 1-3 日	年に 数回	全くして いない	不明 無回答
0.5	0.5	3.3	6.0	22.4	66.3	1.0

SQ. した日は、1日に何時間くらいしましたか。

1 時間 以下	2 時間	3 時間	4 時間	5 時間	6 時間 以上	無回答
43.2	28.4	13.7	6.3	3.2	5.3	0.0

Q54. この1年間に、次のような活動をしましたか。

	した	していない	無回答
(1)道路や公園の掃除など地域の環境を良くする活動	42.7	56.8	0.5
(2)物を作って寄付したり、募金や古切手などを送る	20.0	79.2	0.8
(3)高齢者や障がい者、子ども、福祉施設等に対するボランティア	8.3	90.8	1.0
(4)地域の活動や趣味などの会の世話役、手伝い	27.2	71.9	0.9
(5)民生委員、保護司、行政相談員などの公的な奉仕活動	3.8	95.2	1.0
(6)その他の奉仕活動	7.5	79.4	13.1

SQ1. このような奉仕活動を全部合わせると、この1年では大体どのくらいしましたか。

毎日	週に 4-6 日	週に 1-3 日	月に 1-3 日	年に 数回	不明 無回答
0.4	0.8	7.1	21.2	67.6	3.1

SQ2. した日は、1日に何時間くらいしましたか。

1 時間 以下	2 時間	3 時間	4 時間	5 時間	6 時間 以上	無回答
35.1	29.2	16.2	10.4	4.5	3.2	1.3

Q55. 現在、あなたは次のようなグループや団体の会合や集まりに参加していますか。

	参加している	参加していない	無回答
(1)町内会・自治会	48.2	51.4	0.4
(2)ボランティア・社会奉仕団体	11.5	87.4	1.1
(3)趣味や学習の会、スポーツの会・グループ	22.2	76.9	0.9
(4)宗教関係の会	6.5	92.7	0.8
(5)職場・職域関係のグループ・組合	24.4	74.6	1.0
(6)婦人団体・市民運動団体・消費者団体	2.2	96.8	1.0
(7)政治団体やその後援会	5.4	93.7	0.9
(8)退職者の会などの旧職場の集まり	14.1	84.9	1.0
(9)同窓会	35.4	64.0	0.7
(10)その他	2.0	70.1	28.0

SQ. この1ヵ月では、このようなグループの集まりや活動にどのくらい参加しましたか。

複数の活動に参加した場合は、全部合わせてお答えください。

週に 2回以上	週に 1回	月に 2、3回	月に 1回	参加して いない	不明 無回答
5.1	6.3	17.2	28.1	41.6	1.6

[健康]

Q56. あなたの現在の健康状態はいかがですか。

よい	まあよい	ふつう	あまり よくない	よくない	無回答
31.6	25.1	29.3	11.9	1.8	0.3

Q57. あなたは現在、病院や診療所に通っていますか。往診も含みます。(M.A.)

	はい	いいえ	無回答
(1) 病院・診療所(医院)に通っている	51.9	47.0	1.1
(2) 歯科診療所(歯科医院)・病院に通っている	10.8	88.1	1.1
(3) あんま、鍼灸、マッサージ、接骨院、整骨院に通っている	3.6	95.3	1.1
(4) 通っていない	40.9	58.0	1.1



SQ. そこへは、どのような病気やけがで通っていますか。

	該当	非該当	無回答
(1)高血圧症	40.9	57.6	1.5
(2)脳卒中(脳出血、脳梗塞、くも膜下出血)	3.9	94.6	1.5
(3)狭心症・心筋梗塞	4.5	94.0	1.5
(4)その他の循環器系の病気	4.1	94.4	1.5
(5)かぜ	1.9	96.6	1.5
(6)気管支炎および肺炎	0.8	97.7	1.5
(7)喘息	1.1	97.4	1.5
(8)その他の呼吸器系の病気	1.3	97.2	1.5
(9)胃・十二指腸潰瘍	4.5	94.0	1.5
(10)肝炎・肝硬変	1.7	96.8	1.5
(11)その他の消化器系の病気	1.7	96.8	1.5
(12)歯の病気(虫歯、歯槽膿漏など)	20.1	78.4	1.5
(13)うつ病	1.9	96.6	1.5
(14)分裂病	0.0	98.5	1.5
(15)神経症(ノイローゼ)	0.9	97.6	1.5
(16)自律神経失調症	9.4	97.6	1.5
(17)うつ状態	0.6	97.9	1.5
(18)目・耳・鼻の病気	9.4	89.1	1.5
(19)皮膚の病気	3.6	94.9	1.5
(20)腎臓の病気	2.1	96.4	1.5
(21)前立腺肥大症	1.9	96.6	1.5
(22)その他の泌尿生殖器の病気	0.0	98.5	1.5
(23)骨折	0.8	97.7	1.5
(24)糖尿病	14.6	83.9	1.5
(25)痛風	5.4	93.1	1.5
(26)腰痛・肩こり	11.4	87.1	1.5
(27)慢性関節リウマチ・関節炎	2.3	96.2	1.5
(28)神経痛	1.5	97.0	1.5
(29)ガン	3.0	95.5	1.5
(30)高脂血症(高コレステロール症)	9.4	89.1	1.5
(31)更年期障害	0.0	98.5	1.5
(32)その他の婦人科の病気	0.0	98.5	1.5
(33)その他	9.4	89.1	1.5
(34)病名がわからない	0.4	98.1	1.5

Q58. 健康上の理由で、日常生活にどの程度困難があるからかがいます。

	支障なく できる	少し困難	かなり 困難	わから ない	無回答
(1)日用品の買い物ができますか	97.0	1.6	0.9	0.2	0.3
(2)銀行預金・郵便貯金のおし入れが 自分でできますか	97.0	1.4	0.7	0.5	0.4
(3)バスや電車にのって1人で外出できますか	97.3	1.2	0.9	0.3	0.3

Q59. この1ヵ月間に、健康上の問題で1日中床についた日は何日ありましたか。

ない	1～3 日	4～6 日	7～14 日	15 日以上	わからない	無回答
94.1	4.0	0.3	0.4	0.3	0.2	0.5

Q60. この1年間に健康診断を受けましたか。病気のための通院は含みません。

受けた	受けなかった	無回答
79.8	19.0	1.2

Q61. 睡眠薬、精神安定剤、抗うつ剤あるいは神経症の薬を常用していますか。

常用 している	常用 していない	無回答
6.3	93.0	0.7

Q62. 誰にも気分の沈みがちな時がありますが、あなたは、この1週間に、次にあげるようなことがどの程度ありましたか。

	ほとんど なかった	少しは あった (1～2 日)	ときどき あった (3～4 日)	たいてい そうだった (6～7 日)	わか らない	無回答
(1)普段は気にかからないことが気になった	85.5	9.5	3.4	0.8	0.4	0.4
(2)食べなくなかった、食欲がなかった	88.6	7.6	2.3	0.5	0.4	0.5
(3)家族や友人から励まされてもゆううつな気分を 振り払えなかった	91.1	5.4	1.1	0.5	1.3	0.5
(4)人並みの能力は自分にもあるという気がした	53.3	11.0	6.9	21.8	6.4	0.7
(5)自分のしていることに神経を集中できなかった	83.6	9.6	4.1	0.9	1.1	0.8
(6)ゆううつだった	83.4	10.6	3.4	1.3	0.9	0.5
(7)普段なら何でもないことをするのがおっくうだった	81.8	11.9	3.8	1.3	0.5	0.7
(8)さきゆき明るいと感じた	50.3	17.5	11.4	10.8	9.0	1.0
(9)自分のこれまでの人生は失敗だと思った	80.7	10.3	2.7	1.8	3.7	0.7
(10)何となく恐ろしい気持ちがした	91.0	4.6	1.4	0.8	1.3	1.0
(11)よく眠れなかった	77.1	14.7	4.5	2.3	0.7	0.8
(12)うれしいと感じた	33.1	33.5	21.9	7.8	2.8	0.9
(13)普段より口数が少なかった	82.7	10.2	3.3	1.5	1.7	0.5
(14)さびしい気がした	84.8	9.4	2.7	1.4	1.2	0.5
(15)まわりの人が自分によそよそしいと感じた	91.4	4.6	1.4	0.7	1.4	0.5
(16)楽しいと感じた	31.0	31.6	23.9	10.6	2.4	0.5
(17)泣いたり、泣きたくなった	91.6	4.8	1.5	0.4	0.9	0.8
(18)悲しいと感じた	89.1	7.0	1.7	0.5	1.1	0.5
(19)まわりの人が自分を嫌っているように感じた	90.6	5.2	1.3	0.3	2.0	0.5
(20)何をするにもなかなかやる気がおこらなかった	82.2	12.6	2.6	1.0	1.0	0.7

Q63. あなたの身長と体重を教えてください。

やせ	普通体重	肥満	無回答
2.8	68.1	28.6	0.4

注) 身長と体重から、肥満度を計算。

Q64. あなたは、この1年間ではスポーツや運動を平均して月に何回くらいしましたか。

運動しない	1日	2～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21日以上	無回答
50.2	6.0	17.2	9.2	3.3	4.2	8.3	1.6

Q65. あなたは、お酒(ビール・日本酒・ウイスキーなど)を週に何日くらい飲みますか。

まったく 飲まない	1日未満	1～2日	3～4日	5～6日	毎日	無回答
23.9	11.4	7.5	10.3	10.3	36.1	0.3



SQ1. ふだん1回に、どのくらいの量を飲みますか。

1合未満	2合未満	3合未満	4合未満	4合以上	無回答
44.0	34.2	14.1	2.2	2.6	2.9

SQ2. これまでに次のようなことがありましたか。

	あった	なかった	無回答
(1)お酒を減らさなければならぬと感じたこと	33.6	64.1	2.3
(2)他の人があなたの飲酒を批判するので気にさわったこと	6.6	90.9	2.4
(3)飲酒について悪いとか、申し訳ないと感じたこと	9.3	88.1	2.6
(4)神経をおちつかせたり、二日酔をなおすために「迎え酒」をしたこと	6.1	91.5	2.4

Q66. 現在、タバコを吸っていますか。

はい	いいえ	無回答
34.9	65.0	0.1



SQ. 平均して、1日に何本吸いますか。

1本	2～5本	6～10本	11～15本	16～20本	21本以上
0.3	3.4	18.8	15.7	43.6	18.2

[生活・意識]

Q67. この1年以内に、あなたの生活には次のような出来事がありましたか。

	あった	なかった	無回答
(1)家族の死亡	89.9	9.8	0.3
(2)家族の重い病気やけが	87.7	11.8	0.5
(3)家庭内の不和	96.4	3.2	0.4
(4)家族の失業、仕事上の問題	95.4	4.0	0.5
(5)経済的に大きな損失	95.3	4.2	0.4

↓
SQ. (「あった」場合、それぞれの出来事について)あなたにとっての精神的な大変さはどの程度でしたか。

	何とも なかった	少し 大変だった	かなり 大変だった	無回答
(1)家族の死亡	21.1	42.2	35.6	1.1
(2)家族の重い病気やけが	15.7	46.3	36.1	1.9
(3)家庭内の不和	31.0	41.4	24.1	3.5
(4)家族の失業、仕事上の問題	27.0	51.4	21.6	0.0
(5)経済的に大きな損失	12.8	43.6	41.0	2.6

Q68.あなたの生活全般についてどのように思いますか。

	そう 思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない	わから ない	無回答
(1)自分で立てた計画はうまくできる自信がある	21.4	35.6	29.8	7.8	4.4	0.5	0.4
(2)はじめはうまくいかないことでも、できるまでやりつづける	28.8	38.7	23	6.2	2.1	0.7	0.5
(3)重要な目標を決めてもめったに成功しない	5.8	13.2	36	27	16.3	1.2	0.5
(4)いろいろやることがあるのは、うれしい	41.2	29.8	21.3	4.5	1.8	0.8	0.5
(5)自分から友達をつくるのがうまい	13.1	22.6	35.5	17.7	9.9	0.7	0.5
(6)人の集まりの中では、うまく振る舞えない	7.8	15.8	29.9	23.8	21.2	0.8	0.7
(7)友達になりたい人でも友達になるのが大変ならば、すぐにやめてしまう	8.6	15.6	35.9	21.1	16.6	1.4	0.8
(8)人と対立したときには、相手に自分の考えをわかってもらえるように努力する	24.4	30.7	27.1	10.1	6.2	0.8	0.8

Q69 次のことが、あなたにどのくらいあてはまると思いますか。

	大いに あてはまる	やや あてはまる	どちらとも いえない	ややち がう	まったく ちがう	わからない	無回答
(1)私にはいくつも良い点がある	9.4	37.8	42.2	6.3	1.7	2.3	0.3
(2)私は少なくとも他人と同じくらいには価値のある人間だと思う	15	40.8	34.9	5.3	1.2	2.3	0.4
(3)私には誇れるものがあまりないと思う	3.6	16.3	38.5	27.5	12.5	1.1	0.4
(4)全体として、自分自身に満足している	15.9	45.5	28.7	6.1	2.6	0.8	0.4
(5)私は全く役に立たないと時々思う	1.0	5.5	23.5	30.5	37.9	1.2	0.4

Q70. 全体として、現在の生活にどのくらい満足していますか。

おおいに満足している	まあまあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない	わからない	無回答
12.7	67.8	10.6	6.2	1.7	0.1	0.9

Q71. ご自分の老後の生活について、次のような不安はありますか。

	大いに不安	まあまあ不安	あまり不安はない	わからない	無回答
(1) 生きがいを持つてなくなること	8.9	34.3	54.5	2.1	0.2
(2) 生活費が足りなくなること	19.6	41.8	36.2	2.2	0.2
(3) 社会との交流が少なくなること	8.2	39.8	49.9	1.8	0.2
(4) ねたきりになったり、ぼけたりして、 家族や周りの人に迷惑をかけること	30.1	42.2	24.3	3.2	0.2
(5) 老後に住むところがなくなること	6.3	13.3	79.1	1.1	0.2
(6) 十分な介護サービスが受けられないこと	13.9	38.7	39.8	7.2	0.3

Q72. あなたは、これまでに次のようなことをしてきましたか。

	してきた	してこなかった	無回答
(1) 人生設計講座や定年前準備講座の受講	17.5	82.4	0.1
(2) 就業に役立つような資格の取得	40.2	59.6	0.2
(3) 職業能力を高めるための自己啓発活動	35.3	64.5	0.2



SQ. あなたはそのような自己啓発活動を、平均するとどのくらい頻繁に行ってきましたか。

月に1回以上	年に数回くらい	1年に1回くらい	1年に1回より少ない	わからない	無回答
24.4	42.6	15.1	16.4	0.9	0.6

[社会的ネットワーク]

Q73. あなたの親族や知り合いの中に、現在、次のような職業についている人がいますか。または、その職業の人を紹介してくれる人がいますか。

	親族や直接の知り合いにいる	紹介してくれそうな人ならいる	いない	無回答
(1) 弁護士など法律の専門家	13.9	15.9	70.0	0.2
(2) 企業の重役や社長	30.5	11.4	57.9	0.2
(3) 地方議員・国会議員	15.7	12.8	71.3	0.2

Q74. あなたには、家族以外で個人的に親しくつきあっている人が何人くらいいますか。次のそれぞれの関係ごとにお答えください。

	いない	1～4 人	5～9 人	10～19 人	20～49 人	50 人以上	無回答
(1)親戚	11.8	39.8	28.3	14.1	4.5	1.0	0.5
(2)仕事で知り合った人	14.5	29.2	24.3	16.2	7.6	7.8	0.4
(3)近所づきあいをしている人	29.7	36.7	18.1	8.7	3.4	1.4	2.1
(4)その他の友人(学校、趣味のサークルで知り合った人など)	27.2	27.0	18.3	16.1	5.0	3.9	2.5

SQ. 仕事で知り合った人の中で、現在あなたと同じ会社や職場で働いている人は、何人くらいいますか。

いない	1～4 人	5～9 人	10～19 人	20～49 人	50 人以上	無回答
24.0	34.8	19.2	10.3	5.3	3.6	2.9

Q75.友人や近所の人たちとは、合計して、大体何回くらい会ったり、電話をしたりしていますか。

1 週間に 2 回以上	1 週間に 1 回くらい	1 か月に 2, 3 回	1 か月に 1 回くらい	1 か月に 1 回 より少ない	まったく ない	わからない	無回答
20.2	16.9	18.8	16.6	14.7	8.9	1.3	2.5

Q76. あなたのまわりの人たちは、あなたに心配事や悩み事がある場合、どのくらい話を聞いてくれますか。

	よく聞いて くれる	まあ 聞いてくれる	あまり聞いて くれない	まったく聞いて くれない	心配事を 話さない	わからない	非該当	無回答
(1)同居家族	41.5	32.8	3.9	0.9	8.7	0.9	10.4	1.0
(2)別居の子どもや親戚	17.5	38.6	6.7	1.4	25.5	2.2	7.1	1.0
(3)友人・近隣の人	12.2	41.9	7.1	0.9	31.3	3.2	2.6	0.9

Q77.あなたのまわりの人たちは、日頃の生活でちょっとした手助けが必要なときに手伝ってくれますか。

	良く手伝っ てくれる	まあ手伝っ てくれる	あまり手伝っ てくれない	まったく手伝 ってくれない	頼まない	わからない	非該当	無回答
(1)同居家族	50.8	30.3	2.1	0.3	4.6	0.7	10.2	1.1
(2)別居の子どもや親戚	21.4	38.5	7.2	2.5	21.1	1.8	6.7	0.7
(3)友人・近隣の人	12.7	40.2	8.2	2.0	30.6	3.3	2.3	0.9

Q78. 次の人たちが心配事や相談事について話したがっているときに、どの程度聞いてあげますか。

	たいてい聞 いてあげる	ときどき聞 いてあげる	あまり聞いて あげない	まったく聞い てあげない	話したがっ ていない	わからない	非該当	無回答
(1)同居家族	66.1	18.7	1.5	0.4	1.8	0.5	10.2	0.7
(2)別居の子どもや親戚	49.9	27.6	3.5	0.7	9.4	2.3	6.2	0.4
(3)友人・近隣の人	38.4	32.0	7.4	1.2	14.1	4.6	2.0	0.3

Q79.次の人たちから、文句や小言を言われますか。

	よく言われる	ときどき 言われる	あまり言わ れない	まったく言 われない	わからない	非該当	無回答
(1)職場の人に	4.4	15.0	28.1	27.2	1.0	23.5	0.9
(2)同居家族に	8.1	39.1	25.2	16.4	0.3	10.2	0.7
(3)別居の子どもや親戚に	2.0	12.8	37.6	39.3	1.6	6.1	0.5
(4)友人・近隣の人に	0.9	7.0	31.6	53.8	4.0	2.4	0.4

Q80.次の人たちは、あなたをいらいらせたり、怒らせたりすることがありますか。

	よくある	ときどき ある	あまりない	まったくない	わからない	非該当	無回答
(1)職場の人は	4.9	26.1	26.9	17.4	0.5	23.2	1.0
(2)同居家族は	2.7	31.9	34.1	20.0	0.4	10.1	0.8
(3)別居の子どもや親戚は	0.7	13.5	40.7	37.3	1.2	6.1	0.5
(4)友人・近隣の人は	0.2	9.2	37.3	47.3	3.0	2.3	0.5

[住宅]

Q81. あなたの現在のお住まいはどれですか。

持ち家 (一戸建て)	持ち家 (分譲マンシ ョンなど)	賃貸住宅	給与住宅	その他
81.4	4.7	12.5	0.8	0.7

Q82. あなたは、現在の住所に通算して何年住んでいますか。途中、転出して戻って来た場合はその期間を除いた合計年数でお答えください。

1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年 未満	10～20年 未満	20～30年 未満	30年以上	無回答
2.4	4.1	3.6	6.4	17.5	24.8	41.0	0.1

[家計]

Q83. 現在のお宅の暮らしの状況を総合的にみてどう感じていますか。

大変苦しい	やや苦しい	普通	ややゆとり がある	大変ゆとり がある	わからない	無回答
3.5	14.8	66.3	13.2	1.5	0.7	0.1

Q84. あなたは、次の年金を受けることができますか。

	受給できる	受給できない	わからない	無回答
(1)公的年金	92.5	5.7	1.5	0.3
(2)企業年金	32.2	47.3	8.9	11.5

SQ(受けられる場合)何歳から受ける資格がありますか。

	60歳未満	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳以上	わからない
(1)公的年金	1.3	18.5	11.2	9.2	7.4	3.9	42.7	1.1	4.8
(2)企業年金	3.0	38.5	13.9	5.1	2.7	3.7	26.0	0.3	6.8

Q85.あなたと配偶者の年収は、合計して、この中のどれにあたりますか。税込みでお答えください。

120万未満	120～180万未満	180～300万未満	300～400万未満	400～500万未満	500～600万未満	600～800万未満	800～1,000万未満	1,000万以上	わからない	無回答
7.0	5.4	14.9	11.3	9.2	7.9	7.5	7.7	10.2	5.8	12.9

Q86. あなた方ご夫婦(あなた)の貯蓄(預貯金、信託、債券、株式など)の総額は、およそどれくらいになりますか。

100万未満	100～500万未満	500～1,000万未満	1,000～2,000万未満	2,000～3,000万未満	3,000万以上	わからない	無回答
13.9	12.4	8.9	9.7	5.7	7.6	17.0	24.8

Q87. あなた方ご夫婦(あなた)には、現在、100万円以上の借入金、住宅ローンなどがありますか。

ある	ない	無回答
25.0	68.6	6.4

Q88. あなたの年齢は、9月末でいくつですか(何年何月生まれですか)。

55～59歳	60～64歳
43.8	56.3

Q89. あなたが最後に卒業された学校は次のどちらですか。

中学	高校	専門	短大・高専	大学	大学院	その他	無回答
8.4	41.5	6.4	5.0	34.4	3.2	1.0	0.2

調 査 票

中年期男性の生活の送り方に関する調査

－老後生活の安定に向けて－

平成 28 年 10 月

桜美林大学・老年学総合研究所

一般社団法人 中央調査社

支局番号	地 点 番 号	対象番号	点 検 者

⑧⑨⑩=101

(1) 訪問回数

		回
⑪	⑫	

(2) 調査日

	月		日
⑬	⑭	⑮	⑯

(3) 調査所要時間

	分	{ (開始) ____ 時 ____ 分 (終了) ____ 時 ____ 分
⑰ ⑱ ⑲		

〔調査員注〕 対象者の用事や休けいなどで中断した時間も含める。

〔調査員注〕 面接を始める前に、必ず次の文章を対象者の前で読みあげること。

この調査では、いろいろなことをうかがいますが、答えたくないことについては無理にお答えいただく必要はありません。なお、お答えいただいたことについては、厳重に秘密を守り、他の人に知らせるようなことは一切ありません。また、失礼なこともおうかがいするかもしれませんが、何とぞお許してください。

〔現在の仕事〕

Q1. **〔回答票 1〕**現在あなたは収入を伴う仕事(家族従業、パート・アルバイトを含む)をしていますか。

1. (ア)1 つだけしている 2. (イ)2 つ以上している(副業がある) 3. (ウ)していない ⑳

Q2. 実際に仕事につけるかどうかは別として、収入のある仕事につきたいと思いますか。

1. つきたい 2. つきたくない 3. わからない ㉑

Q3. **〔回答票 2〕**あなたは過去に収入を伴う仕事をしたことはありますか。(家族従業、1 年以上のパート・アルバイトを含む) **〔「ある」と答えた人に〕** 何歳までしていましたか。

1. (ア)45 歳過ぎまで仕事をしていた ㉒
2. (イ)したことはあるが、44 歳前に辞めた → P. 9 の Q29 〔前職〕へ
3. (ウ)仕事をしたことがない → P. 11 の Q39 へ

Q4. (1) **〔回答票 3〕**あなたの主な仕事(本業)は次のどれにあたりますか。

1. (ア)正規職員・従業員 5. (オ)自営業主 ㉓
2. (イ)パート・アルバイト 6. (カ)家族従業(家業などの手伝い)
3. (ウ)嘱託 7. (キ)内職
4. (エ)人材派遣企業の派遣社員 8. (ク)その他()

〔調査員注〕(1)で「(エ)人材派遣企業の派遣社員」の場合、以下の質問は派遣元について答えてもらう

(2) **〔勤め人の場合〕**あなたが現在勤務している企業全体の事業の種類は何ですか。出向や転籍の場合は現在の企業(出向・転籍先)についてお答えください。

〔自営業の場合〕あなたの事業の種類は何ですか。

(電機メーカー、タクシー会社、八百屋などのように具体的に)

() ㉔

(3) そこであなたが主にしている仕事の内容を、具体的にお答えください(経理事務、食料品の販売、アパートの管理人、大工、和服の仕立て、牛乳配達などのように具体的に)。

() ㉕

(4) **〔回答票 4〕**正規従業員は、会社全体で何人くらいですか。パート・アルバイトの人は従業員数から除きます。自営業の場合はご自分、家族従業者も含めてお答えください。

1. (ア)1 人 4. (エ)10～29 人 7. (キ)100～299 人 10. (コ)1000 人以上 ㉖
2. (イ)2～4 人 5. (オ)30～49 人 8. (ク)300～499 人 11. (サ)官公庁(公立学校を含む) ㉗
3. (ウ)5～9 人 6. (カ)50～99 人 9. (ケ)500～999 人 12. わからない

(5) 役職はありますか。 **〔あると答えた人に〕** その役職は何ですか。

() ㉘

(6) **〔調査員記入〕** (1)～(5)の内容から、調査要領の〔職業リスト〕と〔産業分類〕を参照して、該当する職業名と職業コードおよび産業分類コードを記入する。

職業名 〔職業コード〕 〔産業分類コード〕 ㉙
()

--	--	--

--	--

 ㉚～㉜
 ㉝

〔調査員確認〕Q4(2)～(6)に基づいて、Q4(1)が正しいかを確認し、間違っている場合はQ4(1)を修正する。

Q4(1)で○がどこについているか。(XかYのいずれかに○をつける)

X.「1～4」に○がついている(勤め人)

Y.「5～8」に○がついている → P.5のQ16[先月の就労状況]へ

③⑤

Q5. 今の会社は他の会社からの出向先、または転籍先ですか。

1. 出向先 2. 転籍先 3. どちらでもない

③⑥

Q6. [回答票5]次のことがらは、あなたの職場にどのくらいあてはまりますか。

	(ア)非常に あてはまる	(イ)まあ あてはまる	(ウ)あまり あてはまらない	(エ)まったく あてはまらない	わから ない
(1)ある年齢になると、左遷させられる	1	2	3	4	5
(2)ある年齢になると、昇給が停止する	1	2	3	4	5
(3)年長の人の意見や考えが無視されがちである	1	2	3	4	5
(4)職場には、60歳よりも前に退職すべきだという雰囲気がある	1	2	3	4	5

③⑦

③⑧

③⑨

④⑩

Q7. この3年間では、あなたの会社(官公庁)の従業員数は削減されましたか。

1. 削減された

2. 削減されなかった

3. わからない

④①

→ Q9へ

Q8. [回答票6]削減されたのは会社(官公庁)全体の従業員数のうち、どのくらいの割合ですか。

1. (ア)5%未満 2. (イ)5～9% 3. (ウ)10～14% 4. (エ)15%以上 5. わからない

④②

Q9. [回答票7]あなたの会社や職場には、中高年齢者が利用できる次のような施策や制度がありますか。

〔調査員注〕本人が利用できなくても会社があれば「(ア)ある」とする

	(ア)ある	(イ)ない	わからない
(1)働きやすい労働時間の設定	1	2	3
(2)残業規制や残業免除	1	2	3
(3)作業設備や環境の改善	1	2	3
(4)身体的に無理のない仕事に変更	1	2	3
(5)退職後の生活設計の講座の開催や受講料の援助	1	2	3
(6)技術修得のための講座や資金の援助	1	2	3
(7)健康・体力づくりの機会や場の提供、お金の補助	1	2	3
(8)定年の引き上げ	1	2	3
(9)再雇用(再任用制度)	1	2	3
(10)再就職先の斡旋	1	2	3
(11)介護休業制度	1	2	3

④③

④④

④⑤

④⑥

④⑦

④⑧

④⑨

⑤⑩

⑤①

⑤②

⑤③

Q10. **【回答票 8】**あなたの勤務している会社(官公庁)について、どのように感じていますか。

	(ア) そう思う	(イ) どちらか といえば そう思う	(ウ) どちらとも いえない	(エ) どちらかと いえばそう 思わない	(オ) そう 思わない	
(1)他の会社ではなく、この会社を選んで 本当によかったと思う	1	2	3	4	5	⑤4
(2)この会社に自分をささげている	1	2	3	4	5	⑤5
(3)友人に、この会社が素晴らしい働き場所 であるといえる	1	2	3	4	5	⑤6
(4)この会社の発展のためなら、 人並み以上の努力を喜んでするつもりだ	1	2	3	4	5	⑤7
(5)この会社が気に入っている	1	2	3	4	5	⑤8
(6)この会社の人間であることをいつも意識している	1	2	3	4	5	⑤9

Q11. **【回答票 9】**この1年以内に、あなた自身の仕事に関することで、次のような出来事がありましたか。

SQ. **（「あった」場合、それぞれの出来事について）** あなたにとっての精神的な大変さはどの程度でしたか。

	なかった	あった	あなたにとっての精神的な大変さの程度			
			(ア)なんとも なかった	(イ)すこし 大変だった	(ウ)かなり 大変だった	
(1)重大な仕事上のミスをした	1	2 →	1	2	3	⑥0 ⑥1
(2)あなたの業績が上がらなかった、 ノルマが達成できなかった	1	2 →	1	2	3	⑥2 ⑥3
(3)退職を強要された	1	2 →	1	2	3	⑥4 ⑥5
(4)左遷された	1	2 →	1	2	3	⑥6 ⑥7
(5)転勤、配置転換	1	2 →	1	2	3	⑥8 ⑥9
(6)上司、同僚、部下とのトラブル	1	2 →	1	2	3	⑦0 ⑦1
(7)仕事が原因で大きな病気やケガをした	1	2 →	1	2	3	⑦2 ⑦3

Q12. あなたの会社の定年は、あなたの職種では何歳ですか。

歳 × 定年はない

⑦4 ⑦5
⑦6

Q13. **【回答票 10】**現在の仕事からの転職を考えていますか。

1. (ア)すぐにでも転職したい
2. (イ)いい条件のところがあれば転職したい
3. (ウ)転職は考えていない

⑦7

Q14. **【回答票 11】**勤務先までの通勤時間は、片道でだいたいどのくらいですか。

1. (ア)30 分未満
2. (イ)30 分～1時間未満
3. (ウ)1時間～1時間 30 分未満
4. (エ)1時間 30 分以上
5. 特定できない

⑦8

Q15. **【回答票 12】**昨年と比べて、給料は増えましたか、減りましたか。

1. (ア)減った
2. (イ)変わらない
3. (ウ)増えた
4. わからない

⑦9

〔調査員注〕以下、自営業を含めて働いている人全員に

Q16. 先月(平成 28 年 9 月)の仕事についてうかがいます。
(1)先月は何日働きましたか。勤めの人は休日労働も含めます。

日

⑪⑫

(2)労働時間は、平均して 1 週間にどれくらいでしたか。昼休みは除いてお答えください。
残業やサービス残業も含めます。

週時間

⑬～⑮

〔調査員確認〕Q4(1)で○がどこについているか。(XかYのいずれかに○をつける)
X.「1～4」に○がついている(勤め人) Y.「5～8」に○がついている→(3)へ

⑯

SQ.(勤め人について)そのうち、残業や休日労働したのは何時間でしたか。サービス残業も含めます。

残業や休日労働時間

○. 残業や休日労働はなかった

× 所定の就業時間が決まっていない

⑰⑱

⑲

(3)先月に午後 10 時から午前 5 時の間にかかる深夜の勤務は何回ありましたか。

回

○. 深夜勤務はなかった

⑳㉑

Q17. [回答票 13]仕事のなかで次のようなことがどのくらいありますか。

	(ア)だいたい いつも	(イ)たまに ある	(ウ)ほとんど ない
(1) 重いものを運んだり持ち上げたりする	1	2	3
(2) かがんだり、ひざまずいたり、無理な姿勢での作業	1	2	3
(3) 顧客と交渉したり、顧客からの苦情を聞く	1	2	3
(4) 高熱、寒冷、多湿、騒音、高所での作業	1	2	3
(5) 精密な作業、車の運転など緊張する作業	1	2	3
(6) コンピューターなど電子機器(パソコン、タブレット なども含む)を操作する作業	1	2	3

㉒

㉓

㉔

㉕

㉖

㉗

Q18. **【回答票 14】** 次のことはあなたの仕事にどのくらいあてはまりますか。

	(ア)とても あてはまる	(イ)まあ あてはまる	(ウ)あまり あてはまら ない	(エ)全くあ てはまら ない	わから ない	
(1) 新しいことを覚えたり学んだりすることが求められる	1	2	3	4	5	②8
(2) 高いレベルの技術や知識を必要とする	1	2	3	4	5	②9
(3) あなた自身の創意・工夫が求められる	1	2	3	4	5	③0
(4) 同じことを何度も繰り返すことが求められる	1	2	3	4	5	③1
(5) どのように仕事をするかを、自分で自由に決めることができる	1	2	3	4	5	③2
(6) その日にどれくらい仕事をするかは、自分の責任で決められる	1	2	3	4	5	③3
(7) とても速く働くことが必要だ	1	2	3	4	5	③4
(8) とても一生懸命に働くことが必要だ	1	2	3	4	5	③5
(9) あまりに多すぎる仕事をこなすことを要求される	1	2	3	4	5	③6
(10) 仕事をこなす時間的余裕がある	1	2	3	4	5	③7
(11) 仕事上、まちまちに食い違う指示や提案が出されることがある	1	2	3	4	5	③8
(12) 学校で学んだ技能や知識を仕事で活用できる	1	2	3	4	5	③9
(13) 自分の得意なことをする機会がある	1	2	3	4	5	④0
(14) 以前の経験や教育・訓練で得た技能を使える	1	2	3	4	5	④1

Q19. **【回答票 15】** 現在の仕事について、どのように感じていますか。

	(ア)そう 思う	(イ)どちらか といえば そう思う	(ウ)どちらとも いえない	(エ)どちらかと いえばそう 思わない	(オ)そう 思わない	わから ない	
(1) 私の目標のほとんどは、仕事に関するものだ	1	2	3	4	5	6	④2
(2) 私の生活は、今の仕事抜きでは語れない	1	2	3	4	5	6	④3
(3) 私にとって、仕事は今の自分の一部分にすぎない	1	2	3	4	5	6	④4

〔調査員注〕Q20～Q22 の「非該当」とは、「上司がいない」など、該当する人がいない場合のことである。

Q20. **【回答票 16】** 仕事のことで心配事や悩み事があった場合、次の人たちはどの程度話を聞いてくれますか。

	(ア)よく 聞いてくれる	(イ)まあ聞いて くれる	(ウ)あまり 聞いて くれない	(エ)まったく 聞いて くれない	わからない	非該当	
(1) 上司は	1	2	3	4	5	6	④5
(2) 同僚・部下は	1	2	3	4	5	6	④6
(3) 家族・友人・親戚は	1	2	3	4	5	6	④7

Q21. **【回答票 17】**仕事をやりとげるうえで、次の人たちはどの程度助けになりますか。

	(ア)おおいに 助けになる	(イ)まあ 助けになる	(ウ)あまり 助けに ならない	(エ)まったく 助けに ならない	わからない	非該当	
(1) 上司は	1	2	3	4	5	6	④8
(2) 同僚・部下は	1	2	3	4	5	6	④9
(3) 家族・友人・親戚は	1	2	3	4	5	6	⑤0

Q22. **【回答票 18】**家庭や個人的な都合で仕事を休んだり、遅刻、早退することに、次の人たちはどの程度理解がありますか。

	(ア)非常に 理解がある	(イ)まあ 理解がある	(ウ)あまり 理解がない	(エ)まったく 理解がない	わからない	非該当	
(1) 上司は	1	2	3	4	5	6	⑤1
(2) 同僚・部下は	1	2	3	4	5	6	⑤2

Q23. **【回答票 19】**仕事と家庭生活との関係についてうかがいます。次のことがどのくらいあてはまりますか。

	(ア)かなり あてはまる	(イ)まあ あてはまる	(ウ)あまり あてはまらない	(エ)まったく あてはまらない	わ か ら な い	
(1) 仕事や仕事上のつきあいが忙しくて、家の 用事や家族との会話が十分にできない	1	2	3	4	5	⑤3
(2) 家にいても仕事や仕事上の悩みが頭から 離れなくて、家族のことがおそろそかになる	1	2	3	4	5	⑤4
(3) 家のことに時間がかかるので、仕事に支障 をきたすことがある	1	2	3	4	5	⑤5
(4) 家のことや家族のことが気になって、仕事 に集中できないことがある	1	2	3	4	5	⑤6

Q24. **【回答票 20】**この1年間では、仕事が原因でケガをしたことがありましたか。通勤災害は含みません。

(ある場合)どの程度のものでしたか。複数回ある場合には、一番重いケガについてお答えください。

1. (ア)ない
2. (イ)あるが、医師の手当ては受けなかった
3. (ウ)医師の手当てを受けたが、会社を休むことはなかった
4. (エ)少なくとも1日以上仕事を休むケガをした
5. (オ)後遺症が残るようなケガをした

⑤7

Q25. **【回答票 21】**仕事に関する以下の点について、あなたは満足していますか。

	(ア)おおいに 満足して いる	(イ)まあまあ 満足して いる	(ウ)どちらとも いえない	(エ)あまり 満足して いない	(オ)まったく 満足して いない	わから ない	
(1) 能力の活用・発揮	1	2	3	4	5	6	⑤8
(2) 職場の人間関係	1	2	3	4	5	6	⑤9
(3) 賃金・収入	1	2	3	4	5	6	⑥0
(4) 就業時間・休日	1	2	3	4	5	6	⑥1
(5) 仕事の内容・やりがい	1	2	3	4	5	6	⑥2
(6) 作業設備・労働環境	1	2	3	4	5	6	⑥3

Q26. **【回答票 22】**全般的にいて、自分の仕事にどれくらい満足していますか。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. (ア)おおいに満足している | 4. (エ)あまり満足していない |
| 2. (イ)まあまあ満足している | 5. (オ)まったく満足していない |
| 3. (ウ)どちらともいえない | 6. わからない |

⑥4

Q27. **【回答票 23】**あなたが、現在の職を定年や自己都合以外の理由で失う可能性は、どのくらいあると思いますか。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. (ア)非常にありうる | 4. (エ)ほとんどありそうにない |
| 2. (イ)いくらかありうる | 5. わからない |
| 3. (ウ)あまりありそうにない | |

⑥5

Q28. 現在の仕事についてのはいつですか。それは何歳のときですか。再雇用の場合は、再雇用の時期とします。
現在、出向や転籍先にいる場合は、出向・転籍の時期とします。

- | | | | | | | |
|------|---|---|---|-----|---|------|
| 1 昭和 | <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 20px; display: inline-block; text-align: center;"> </div> | 年 | <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 20px; display: inline-block; text-align: center;"> </div> | 月から | <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 20px; display: inline-block; text-align: center;"> </div> | 歳のとき |
| 2 平成 | | | | | | |

⑥6

⑥7⑥8

⑥9⑦0

⑦1⑦2

〔調査員確認〕 上記 Q28 の年齢はいくつか。(XかYのいずれかに○をする)

X. 45 歳以上である

Y. 44 歳以下である → P. 10 の Q33 へ

⑦3



SQ1. **【回答票 24】**今の仕事はどのような方法で見つけましたか。1つだけ選んでください。

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. (ア)公共職業安定所など公共機関の紹介で | 6. (カ)家族・親戚の紹介で |
| 2. (イ)民間の職業紹介機関の紹介で | 7. (キ)仕事上の友人・知人の紹介で |
| 3. (ウ)前の勤め先の斡旋・再雇用で | 8. (ク)仕事以外の友人・知人の紹介で |
| 4. (エ)出向元の会社の指示で | 9. (ケ)その他() |
| 5. (オ)新聞の求人広告やインターネットの求人サイトに応募して | |

⑦4

SQ2. **【回答票 25】**今の仕事を見つけるために、どのくらいの期間、求職活動をしましたか。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. (ア)求職活動はしなかった | 5. (オ)6～9ヵ月未満 |
| 2. (イ)1ヵ月未満 | 6. (カ)9ヵ月～1年未満 |
| 3. (ウ)1～3ヵ月未満 | 7. (キ)1年以上 |
| 4. (エ)3～6ヵ月未満 | 8. わからない・忘れた |

⑦5

SQ3. **【回答票 26】**全体的にみて、前の仕事と比べて、現在の仕事はよくなりましたか。

- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|------------------|
| 1. (ア)よくなった | 2. (イ)変わらない | 3. (ウ)悪くなった | 4. (エ)前は働いていなかった |
|-------------|-------------|-------------|------------------|

⑦6

→ P. 11 の Q39 へ

SQ4. **【回答票 27】**前の仕事から現在の仕事に移って、賃金または所得はどう変わりましたか。

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 1. (ア)3割以上の増加 | 4. (エ)1～3割未満の減少 |
| 2. (イ)1～3割未満の増加 | 5. (オ)3～5割未満の減少 |
| 3. (ウ)1割未満の増減(ほとんど変化なし) | 6. (カ)5割以上の減少 |

⑦7

〔前職〕

前の仕事についてうかがいます。

Q29. 前の仕事にはいつからいつまで就いていましたか。複数ある場合は、一番最後に辞めた仕事についてお答えください。前の仕事が出向や転籍先の場合は、出向・転籍先のことについてお答えください。

〔調査員注〕一時的な出向は同じ勤務先とする。

1. 昭和 年 月から
2. 平成 年 月から

1. 昭和 年 月まで
2. 平成 年 月まで

⑪
⑫～⑮
⑯
⑰～⑳

Q30. (1) 〔回答票 28〕あなたの前の仕事は、次のどれにあたりますか。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. (ア)正規職員・従業員 | 5. (オ)自営業主 |
| 2. (イ)パート・アルバイト | 6. (カ)家族従業(家業などの手伝い) |
| 3. (ウ)嘱託 | 7. (キ)内職 |
| 4. (エ)人材派遣企業の派遣社員 | 8. (ク)その他() |

⑳

〔調査員注〕(1)で「(エ)人材派遣企業の派遣社員」の場合、以下の質問は派遣元について答えてもらう

(2) (勤め人の場合)前にあなたが勤務していた企業全体の事業の種類は何でしたか。

(自営業の場合)前にあなたがしていた事業の種類は何でしたか。

(電機メーカー、タクシー会社、八百屋などのように具体的に)

()

㉒

(3) あなたのその時の仕事の内容を、具体的にお答えください(経理事務、食料品の販売、アパートの管理人、大工、和服の仕立て、牛乳配達などのように具体的に)。

()

㉓

(4) 〔回答票 29〕正規従業員は、会社全体で何人くらいでしたか。パート・アルバイトの人は従業員数から除きます。自営業の場合はご自分、家族従業者も含めてお答えください。

- | | | | |
|--------------|----------------|------------------|----------------------|
| 1. (ア) 1 人 | 4. (エ) 10～29 人 | 7. (キ) 100～299 人 | 10. (コ) 1000 人以上 |
| 2. (イ) 2～4 人 | 5. (オ) 30～49 人 | 8. (ク) 300～499 人 | 11. (サ) 官公庁(公立学校を含む) |
| 3. (ウ) 5～9 人 | 6. (カ) 50～99 人 | 9. (ケ) 500～999 人 | 12. わからない |

㉔

㉕

(5) 役職はありましたか。(あったと答えた人に)もっとも高い役職は何でしたか。

()

㉖

(6) 〔調査員記入〕(1)～(5)の内容から、調査要領の〔職業リスト〕と〔産業分類〕を参照して、該当する職業名と職業コードおよび産業分類コードを記入する。

職業名	〔職業コード〕	〔産業分類コード〕
()		

㉗

㉘～㉚

㉛㉜

Q31. 〔回答票 30〕その仕事を辞めたのは、どのような理由からですか。(M. A.)

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. (ア)定年のため | 8. (ク)結婚のため |
| 2. (イ)早期退職優遇制度を利用して | 9. (ケ)家族の介護のため |
| 3. (ウ)事業所の閉鎖や会社倒産、廃業のため | 10. (コ)その他の家庭の事情 |
| 4. (エ)解雇や人員整理のため | 11. (サ)自分の健康上の理由 |
| 5. (オ)契約期間満了のため | 12. (シ)出向・転籍となったため |
| 6. (カ)会社や仕事に対する不満のため | 13. (ス)その他() |
| 7. (キ)よりよい仕事へのキャリアアップのため | |

㉝

㉞

Q32. その仕事は、あなたがもっとも長くしていた仕事ですか。

1. はい ※Q30(1)で「1～4」に○がついている(勤め人) → P. 11 の Q36 へ
2. はい ※Q30(1)で「5～8」に○がついている → P. 11 の Q37 へ
3. いいえ ※Q1で「1～2」に○がついている(現在、仕事をしている) → Q33 へ
4. いいえ ※Q1で「3」に○がついている(現在、仕事をしていない) → Q34 へ

③5

Q33. あなたがもっとも長くしていた仕事は、現在の仕事ですか。

1. はい → P. 11 の Q37 へ
2. いいえ → Q34[最長職] へ

③6

[最長職]

もっとも長くしていた仕事についてうかがいます。

Q34. [回答票 31] (1) あなたがもっとも長くしていた仕事は次のどれにあたりますか。

1. (ア) 正規職員・従業員
2. (イ) パート・アルバイト
3. (ウ) 嘱託
4. (エ) 人材派遣企業の派遣社員
5. (オ) 自営業主
6. (カ) 家族従業(家業などの手伝い)
7. (キ) 内職
8. (ク) その他()

③7

〔調査員注〕(1)で「(エ)人材派遣企業の派遣社員」の場合、以下の質問は派遣元について答えてもらう

(2) (勤め人の場合) あなたがもっとも長く勤務していた企業全体の事業の種類は何でしたか。

(自営業の場合) あなたがもっとも長くしていた事業の種類は何でしたか。

(電機メーカー、タクシー会社、八百屋などのように具体的に)

()

③8

(3) あなたの仕事の内容を、具体的にお答えください。一番重要な職務は何でしたか(経理事務、食料品の販売、アパートの管理人、大工、和服の仕立て、牛乳配達などのように具体的に)。

()

③9

(4) [回答票 32] 正規従業員は、会社全体で何人くらいでしたか。パート・アルバイトの人は従業員数から除きます。自営業の場合はご自分、家族従業者も含めてお答えください。

1. (ア) 1 人
2. (イ) 2～4 人
3. (ウ) 5～9 人
4. (エ) 10～29 人
5. (オ) 30～49 人
6. (カ) 50～99 人
7. (キ) 100～299 人
8. (ク) 300～499 人
9. (ケ) 500～999 人
10. (コ) 1000 人以上
11. (サ) 官公庁(公立学校を含む)
12. わからない

④0

④1

(5) もっとも長くしていた仕事では役職はありましたか。

(あったと答えた人に) もっとも高い役職は何でしたか。

()

④2

(6) [調査員記入] (1)～(5)の内容から、調査要領の[職業リスト]と[産業分類]を参照して、該当する職業名と職業コードおよび産業分類コードを記入する。

職業名 () 職業コード [] 産業分類コード []

④3

④4～④6

④7④8

Q35. もっとも長くしていた仕事にはいつからいつまで就いていましたか。

1. 昭和 [] 年 [] 月から 1. 昭和 [] 年 [] 月まで
2. 平成 [] 年 [] 月から 2. 平成 [] 年 [] 月まで

④9

⑤0～⑤3

⑤4

⑤5～⑤8

〔調査員確認〕Q34(1)で○がどこについているか。(XかYのいずれかに○をつける)

X.「1～4」に○がついている(勤め人) Y.「5～8」に○がついている → Q37 へ

⑤9

Q36. もっとも長く勤めていた会社は、現在の会社の出向・転籍元ですか。

1. 出向元である 2. 転籍元である 3. どちらでもない

⑥0

〔調査員注〕以下は、仕事をしている人・したことのある人全員に

Q37. あなたはこれまでにいくつの勤務先に勤めたことがありますか。パート、アルバイトでもかまいません。

ただし、在学時は除きます。自営業・家族従業員も勤務先の1つと数えます。

〔調査員注〕現在の勤務先も含める。同じ会社での転勤、あるいは一時的な出向は同じ勤務先とする。
転籍出向の場合は異なる勤務先とする

1. 1つ 2. 2つ 3. 3つ 4. 4つ 5. 5つ以上

⑥1

Q38. これまでに定年退職を経験したことがありますか。早期退職優遇制度を利用した人も含みます。

1. ある 2. ない

⑥2

〔調査員注〕全員に

Q39. [回答票 33] 高齢者の雇用を安定させる目的で、2006 年(平成 18 年)に定年の引き上げや継続雇用制度の導入のための法律改定が行われました。さらに、2013 年(平成 25 年)には、原則、希望者全員が継続雇用制度を利用できるように、継続雇用の対象をグループ企業まで拡大する改定が行われました。あなたは、このように高齢者の雇用を安定させることを目的とした法律の改定が行われたことをご存じでしたか。

1. (ア) 内容まで詳しく知っている
2. (イ) 改定が行われたことは知っているが、内容までは詳しく知らない
3. (ウ) 知らない

⑥3

Q40-1. [回答票 34-1] あなたは、今までに職場の継続雇用制度を利用したことはありますか。

- | | | | |
|-------------------------|--------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
| 1.
(ア) 利用した
ことがある | 2.
(イ) 継続雇用制度を
利用したことはない | 3.
(ウ) 職場に継続雇用
制度がない(なかった) | 4.
(エ) 継続雇用制度が
あるかどうか、わからない |
|-------------------------|--------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|

⑥4

→ Q40-2 へ

SQ1. この経験はあなたにとってよかったですか。悪かったですか。

1. よかった 2. 悪かった

⑥5

SQ2. そのような評価をした理由をお聞かせください。

⑥6

Q40-2. [回答票 34-2] 職場の定年延長によって、あなた自身の定年時期が先に延びたという経験はありますか。

- | | | | |
|--------------------|-----------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|
| 1.
(ア)
経験がある | 2.
(イ) 定年時期が
延びた経験はない | 3.
(ウ) 職場では定年延長
されていない(されなかった) | 4.
(エ) 定年延長されたか
どうか、わからない |
|--------------------|-----------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|

⑥7

→ Q41 へ

SQ1. この経験はあなたにとってよかったですか。悪かったですか。

1. よかった 2. 悪かった

⑥8

SQ2. そのような評価をした理由をお聞かせください。

⑥9

〔調査員注〕 全員に

Q41. あなたは、仕事の場合があるとすれば、何歳くらいまで収入を伴う仕事をしたいと考えていますか。
現在の職場を退職した後のことも含めてお答えください。

〔調査員注〕 「働ける限り」という回答の場合は、「何歳くらいまで働けるか」とたずねる

	歳くらいまで	1. 働きたくない・すぐにでも辞めたい	2. わからない
		→ Q42 へ	

⑦⑧⑨
⑩⑪

〔調査員確認〕 60 歳以下の場合は、Q42 へ。
61 歳以後も働きたいと回答した場合にのみ、SQ をたずねる。

SQ. [回答票35] 61 歳以後、どのような職務形態の仕事をしたいとお考えですか。1 つだけお答えください。

〔調査員注〕 「今の仕事をつづけたい」という回答の場合においても、(ア)～(オ)のいずれかを選んでもらう

1. (ア)普通勤務で会社などで働きたい
2. (イ)短時間勤務(日数が少ない、1 日の勤務時間が短い)で会社などで働きたい
3. (ウ)近所の人や会社などに頼まれたりして、任意に行なう仕事をしたい
4. (エ)自分で事業(自営業)をしたい・続けたい
5. (オ)家業を手伝いたい
6. その他 ()
7. わからない

⑫⑬

Q42. あなたは現在何か求職活動をしていますか。

1. している	2. していない
↓	→ Q43 へ

⑭⑮

SQ. いつからしていますか。

平成		年		月	から
----	--	---	--	---	----

⑯⑰
⑱⑲

〔配偶者〕

⑳㉑㉒=104

配偶者のことについてうかがいます。

Q43. [回答票 36] 配偶者はいらっしゃいますか。〔調査員注〕事実婚や内縁を含む。以下同じ

1. (ア)いる(再婚を含む)	2. (イ)離別した	3. (ウ)死別した	4. (エ)未婚
↓	→ Q49[家族] へ		

㉓㉔

Q44. 配偶者の年齢は、9 月末でいくつですか。

平成 28 年 9 月 30 日現在： 満		歳
-----------------------	--	---

㉕㉖

Q45. [回答票 37] 配偶者が最後に卒業された学校はどちらですか。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. (ア)中学校(旧制小学校) | 5. (オ)4 年制大学(旧制高校) |
| 2. (イ)高等学校(旧制中学校) | 6. (カ)大学院 |
| 3. (ウ)専門・専修学校 | 7. (キ)その他 () |
| 4. (エ)短大・高専 | |

㉗㉘

Q46. **【回答票 38】**配偶者の現在の健康状態はいかがですか。

- | | |
|------------|---------------|
| 1. (ア)よい | 4. (エ)あまりよくない |
| 2. (イ)まあよい | 5. (オ)よくない |
| 3. (ウ)ふつう | 6. わからない |

⑮

Q47. 現在、配偶者は収入を伴う仕事をしていますか。(家族従業、パート・アルバイトを含む)

(していない場合) 仕事をしたことはありますか。

- | | |
|---------|----------|
| 1. している | 2. していない |
| ↓ | → Q48 へ |

⑯

SQ. **【回答票 39】**その仕事は、次のどれにあたりますか。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. (ア)正規職員・従業員 | 5. (オ)自営業主 |
| 2. (イ)パート・アルバイト | 6. (カ)家族従業(家業などの手伝い) |
| 3. (ウ)嘱託 | 7. (キ)内職 |
| 4. (エ)人材派遣企業の派遣社員 | 8. (ク)その他() |

⑰

Q48. **【回答票 40】**配偶者との関係についてうかがいます。

	(ア) そう 思う	(イ) やや そう思う	(ウ) どちら ともいえない	(エ) あまり そう思わない	(オ) 全くそう 思わない
(1) 配偶者と話をするのが楽しい	1	2	3	4	5
(2) 配偶者というと気持ちがやすらぐ	1	2	3	4	5
(3) 何かしようとするとき、励ましてくれる	1	2	3	4	5
(4) 結婚生活は我慢することが多い	1	2	3	4	5
(5) お互いの考えをあまり話し合わない	1	2	3	4	5

⑱

⑲

⑳

㉑

㉒

【家族】

家族についてうかがいます。

Q49. あなたには子どもがいますか。同居別居は問いません。(いる場合) 何人ですか。

【調査員注】養子は含むが、嫁・婿は除く

	人	0. いない → Q50 へ
↓		

㉓㉔

SQ1. そのうち、経済的に面倒を見ている子どもはいますか。(いる場合) 何人ですか。

	人	0. いない
--	---	--------

㉕㉖

SQ2. では、結婚している子どもはいますか。(いる場合) 何人ですか。

	人	0. いない
--	---	--------

㉗㉘

Q50. 現在、同居している(同じ敷地内に住んでいる)人は、あなたを含めて合計何人ですか。
入院されている方も含めてお答えください。

--	--

人

1. 1人(自分だけ) → Q51 へ

②⑨③⑩

③①

SQ. [回答票 41] あなたと同居している方は、次のうちどなたですか。(M. A.)

- | | | | |
|---------------|-------------|-------------|------------|
| 1. (ア)配偶者 | 4. (エ)あなたの父 | 7. (キ)配偶者の母 | 10. (コ)孫 |
| 2. (イ)子ども | 5. (オ)あなたの母 | 8. (ク)祖父 | 11. (サ)その他 |
| 3. (ウ)子どもの配偶者 | 6. (カ)配偶者の父 | 9. (ケ)祖母 | () |

③②

③③

Q51. この1年間に、家族や親戚の中で介護や看護が必要な方はいましたか。

1. いた 2. いなかった → Q52 へ

③④

SQ1. [回答票 42] それはどなたですか。(M. A.)

- | | |
|------------|------------|
| 1. (ア)実の親 | 3. (ウ)兄弟姉妹 |
| 2. (イ)義理の親 | 4. (エ)その他 |

③⑤

SQ2. [回答票 43] この1ヵ月では、あなたはその方のお世話をしましたか。大体どのくらいしましたか。

ちょっとしたお手伝いや認知症などのための見守りも含めてお答えください。

[調査員注] 回答が(ア)～(エ)の時は時間もたずねる。1～2時間という回答は中間をとって1時間30分とする。

複数の人をお世話している場合は合計した時間で答えてもらう。

- | | | |
|------------------------------|-----------------------------|--|
| 1. (ア)毎日した | → SQ3. した日は、1日に何時間くらいしましたか。 | <table border="1" style="display: inline-table; width: 50px; height: 20px;"></table> 時間 <table border="1" style="display: inline-table; width: 50px; height: 20px;"></table> 分 |
| 2. (イ)週に4～6日くらいした | | |
| 3. (ウ)週に1～3日くらいした | | |
| 4. (エ)月に1～3日くらいした | | |
| 5. (オ)この1ヵ月はしていないが、年に数回くらいした | → Q52 へ | |
| 6. (カ)お世話はまったくしていない | | |
| 7. (キ)死亡した | | |
| 8. 忘れた、わからない | | |

③⑥

③⑦③⑧

③⑨④⑩

SQ4. [回答票 44] あなた以外に、その方のお世話をしている人はいますか。

(いる場合) それはどなたですか。(M. A.)

- | |
|---------------------------|
| 1. (ア) いない |
| 2. (イ) 家族、親族、近隣の人 |
| 3. (ウ) 医療・福祉の専門家、在宅介護サービス |
| 4. (エ) その他() |

④①

〔調査員注〕全員に

Q52. [回答票 45] 家族や親戚、自分のために、家事や買い物、子守り、介護をこの1年間にしましたか。大体どのくらいしましたか。家事には、草取りや水やり、車や自転車の手入れ、家具の修繕なども含みます。

〔調査員注〕回答が(ア)～(エ)の時は時間もたずねる。1～2時間という回答は中間をとって1時間30分とする

- | | | | |
|-------------------|---|--|------|
| 1. (ア)毎日した | → | SQ. した日は、1日に何時間くらいしましたか。 | ④② |
| 2. (イ)週に4～6日くらいした | → | <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分 | ④③④④ |
| 3. (ウ)週に1～3日くらいした | → | <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分 | ④⑤④⑥ |
| 4. (エ)月に1～3日くらいした | → | | |
| 5. (オ)年に数回くらいした | | | |
| 6. (カ)まったくしていない | | | |
| 7. 忘れた、わからない | | | |

〔社会活動〕

社会活動についてうかがいます。

Q53. [回答票 46] 友人や近所の人のために、何らかの手伝いをこの1年間にしてあげましたか。

例えば、家事や買い物、用事の手伝い、介護・看病などです。大体どのくらいしましたか。

〔調査員注〕回答が(ア)～(エ)の時は時間もたずねる。1～2時間という回答は中間をとって1時間30分とする

- | | | | |
|-------------------|---|--|------|
| 1. (ア)毎日した | → | SQ. した日は、1日に何時間くらいしましたか。 | ④⑦ |
| 2. (イ)週に4～6日くらいした | → | <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分 | ④⑧④⑨ |
| 3. (ウ)週に1～3日くらいした | → | <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分 | ⑤⑦⑤⑩ |
| 4. (エ)月に1～3日くらいした | → | | |
| 5. (オ)年に数回くらいした | | | |
| 6. (カ)まったくしていない | | | |
| 7. 忘れた、わからない | | | |

Q54. [回答票 47] この1年間に、次のような活動をしましたか。 ((1)～(6)まで1つ1つ聞いていく)

	(ア)した	(イ)していない	
(1) 道路や公園の掃除など地域の環境を良くする活動 (花いっぱい運動や自然保護活動なども含む)	1	2	⑤②
(2) 物を作って寄付したり、募金や古切手などを送る	1	2	⑤③
(3) 高齢者や障がい者、子ども、福祉施設等に対するボランティア	1	2	⑤④
(4) 地域の活動や趣味などの会の世話役、手伝い	1	2	⑤⑤
(5) 民生委員、保護司、行政相談委員などの公的な奉仕活動	1	2	⑤⑥
(6) その他の奉仕活動 ()	1	2	⑤⑦

〔調査員注〕Q54で1つでも「した」と答えた人はSQ1へ。それ以外はQ55へ

SQ1. [回答票 48] このような奉仕活動を全部合わせると、この1年では大体どのくらいしましたか。

〔調査員注〕回答が(ア)～(エ)の時は時間もたずねる。1～2時間という回答は中間をとって1時間30分とする

- | | | | |
|-------------------|---|--|------|
| 1. (ア)毎日した | → | SQ2. した日は、1日に何時間くらいしましたか。 | ⑤⑧ |
| 2. (イ)週に4～6日くらいした | → | <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分 | ⑤⑨⑥⑩ |
| 3. (ウ)週に1～3日くらいした | → | <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分 | ⑥①⑥⑪ |
| 4. (エ)月に1～3日くらいした | → | | |
| 5. (オ)年に数回くらいした | | | |
| 6. 忘れた、わからない | | | |

Q55. **【回答票 49】**現在、あなたは次のようなグループや団体の会合や集まりに参加していますか。

〔調査員注〕 加入だけの場合は「参加」に含めない

	(ア)参加している	(イ)参加していない
(1) 町内会・自治会	1	2
(2) ボランティア・社会奉仕団体	1	2
(3) 趣味や学習の会、スポーツの会・グループ	1	2
(4) 宗教関係の会	1	2
(5) 職場・職域関係のグループ・組合	1	2
(6) 婦人団体・市民運動団体・消費者団体	1	2
(7) 政治団体やその後援会	1	2
(8) 退職者の会などの旧職場の集まり	1	2
(9) 同窓会	1	2
(10) その他 ()	1	2

⑥3

⑥4

⑥5

⑥6

⑥7

⑥8

⑥9

⑦0

⑦1

⑦2

(1つでも参加していると答えた人にはS Qを質問。それ以外はQ56へ。)

SQ. **【回答票 50】**この1ヵ月では、このようなグループの集まりや活動にどのくらい参加しましたか。

複数の活動に参加した場合は、全部合わせてお答えください。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. (ア)1週間に2回以上 | 4. (エ)1ヵ月に1回くらい |
| 2. (イ)1週間に1回くらい | 5. (オ)この1ヵ月では参加していない |
| 3. (ウ)1ヵ月に2、3回くらい | 6. 忘れた、わからない |

⑦3

〔健康〕

健康状態についてうかがいます。

Q56. **【回答票 51】**あなたの現在の健康状態はいかがですか。

- | | | |
|------------|---------------|------------|
| 1. (ア)よい | 3. (ウ)ふつう | 5. (オ)よくない |
| 2. (イ)まあよい | 4. (エ)あまりよくない | 6. わからない |

⑦4

Q57. **【回答票 52】**あなたは現在、病院や診療所に通っていますか。往診も含みます。(M.A.)

1. (ア)病院・診療所(医院)に通っている
2. (イ)歯科診療所(歯科医院)・病院の歯科に通っている
3. (ウ)あんま、鍼灸、マッサージ、接骨院・整骨院に通っている
4. (エ)通っていない

⑦5

→ Q58へ

SQ. **【回答票 53】**そこへは、どのような病気やけがで通っていますか。(M.A.)

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1. (ア)高血圧症 | 18. (ツ)目・耳・鼻の病気 |
| 2. (イ)脳卒中(脳出血、脳梗塞、くも膜下出血) | 19. (テ)皮膚の病気 |
| 3. (ウ)狭心症・心筋梗塞 | 20. (ト)腎臓の病気 |
| 4. (エ)その他の循環器系の病気 | 21. (ナ)前立腺肥大症 |
| 5. (オ)かぜ | 22. (ニ)その他の泌尿生殖器の病気 |
| 6. (カ)気管支炎および肺炎 | 23. (ヌ)骨折 |
| 7. (キ)喘息 | 24. (ネ)糖尿病 |
| 8. (ク)その他の呼吸器系の病気 | 25. (ノ)痛風 |
| 9. (ケ)胃・十二指腸潰瘍 | 26. (ハ)腰痛・肩こり |
| 10. (コ)肝炎・肝硬変 | 27. (ヒ)慢性関節リウマチ・関節炎 |
| 11. (サ)その他の消化器系の病気 | 28. (フ)神経痛 |
| 12. (シ)歯の病気(虫歯、歯槽膿漏など) | 29. (ヘ)ガン |
| 13. (ス)うつ病 | 30. (ホ)高脂血症(高コレステロール症) |
| 14. (セ)分裂病 | 31. (マ)更年期障害 |
| 15. (ソ)神経症(ノイローゼ) | 32. (ミ)その他の婦人科の病気 |
| 16. (タ)自律神経失調症 | 33. (ム)その他() |
| 17. (チ)うつ状態 | 34. (メ)病名がわからない |

⑦6

⑦7

⑦8

⑦9

Q58. **【回答票 54】**健康上の理由で、日常生活にどの程度困難があるかがいます。

【調査員注】 普段していなくても、しようとしたらできるかどうかで答えてもらう

	(ア) 支障なくできる	(イ) 少し困難	(ウ) かなり困難	わからない	
(1) 日用品の買い物ができますか	1	2	3	4	⑪
(2) 銀行預金・郵便貯金の出し入れが自分でできますか	1	2	3	4	⑫
(3) バスや電車にのって1人で外出できますか	1	2	3	4	⑬

Q59. **【回答票 55】**この1ヵ月間に、健康上の問題で1日中床についた日は何日ありましたか。

- | | | | |
|-------------|--------------|--------------|---|
| 1. (ア) ない | 3. (ウ) 4～6日 | 5. (オ) 15日以上 | ⑭ |
| 2. (イ) 1～3日 | 4. (エ) 7～14日 | 6. わからない | |

Q60. この1年間に健康診断を受けましたか。病気のための通院は含みません。

- | | | |
|--------|-----------|---|
| 1. うけた | 2. うけなかった | ⑮ |
|--------|-----------|---|

Q61. 睡眠薬、精神安定剤、抗うつ剤あるいは神経症の薬を常用していますか。

- | | | |
|-----------|------------|---|
| 1. 常用している | 2. 常用していない | ⑯ |
|-----------|------------|---|

Q62. **【回答票 56-1】**誰にも気分の沈みがちな時がありますが、あなたは、この1週間に、次にあげるようなことがどの程度ありましたか。**【調査員注】** 回答票が2枚に分かれているので注意する

	(ア) ほとんど なかった	(イ) 少しは あった (1～2日)	(ウ) ときどき あった (3～4日)	(エ) たいてい そうだった (5～7日)	わから ない	
(1) 普段は気にかからないことが気になった	1	2	3	4	5	⑰
(2) 食べなくなかった、食欲がなかった	1	2	3	4	5	⑱
(3) 家族や友人から励まされてもゆううつな気分を振り払えなかった	1	2	3	4	5	⑲
(4) 人並みの能力は自分にもあるという気がした	1	2	3	4	5	⑳
(5) 自分のしていることに神経を集中できなかった	1	2	3	4	5	㉑
(6) ゆうつだった	1	2	3	4	5	㉒
(7) 普段なら何でもないことをするのがおっくうだった	1	2	3	4	5	㉓
(8) さきゆき明るいと感じた	1	2	3	4	5	㉔
(9) 自分のこれまでの人生は失敗だと思った	1	2	3	4	5	㉕
(10) 何となく恐ろしい気持ちがあった	1	2	3	4	5	㉖
【回答票 56-2】						
(11) よく眠れなかった	1	2	3	4	5	㉗
(12) うれしいと感じた	1	2	3	4	5	㉘
(13) 普段より口数が少なかった	1	2	3	4	5	㉙
(14) さびしい気がした	1	2	3	4	5	㉚
(15) まわりの人が自分によそよそしいと感じた	1	2	3	4	5	㉛
(16) 楽しいと感じた	1	2	3	4	5	㉜
(17) 泣いたり、泣きたくなった	1	2	3	4	5	㉝
(18) 悲しいと感じた	1	2	3	4	5	㉞
(19) まわりの人が自分を嫌っているように感じた	1	2	3	4	5	㉟
(20) 何をするにもなかなかやる気がおこらなかった	1	2	3	4	5	㊱

Q63. あなたの身長と体重を教えてください。【調査員注】小数点以下は四捨五入

身長cm

体重kg

③7～③9
④0～④2

Q64. あなたは、この1年間ではスポーツや運動を平均して月に何回くらいしましたか。

【調査員注】スポーツ・運動とは、ストレッチング、体操、ウォーキング、ジョギング、スキー、サイクリング、各種球技などであり、ぶらぶら歩く散歩などは含まない

月に回くらい

④3④4

Q65. 【回答票 57】あなたは、お酒(ビール・日本酒・ウイスキーなど)を週に何日くらい飲みますか。

【調査員注】ごくたまに飲む場合は「(イ) 1日未満」とする

1
(ア)
まったく飲まない

2
(イ)
1日未満

3
(ウ)
1～2日

4
(エ)
3～4日

5
(オ)
5～6日

6
(カ)
毎日

④5

→ SQ1. ふだん1回に、どのくらいの量を飲みますか。

1

2

3

4

5

1合未満 2合未満 3合未満 4合未満 4合以上

④6

(注) 量の換算→日本酒に換算して記入する

- ・ビール大ビン(633ml)=日本酒 1.0 合
- ・ビール中ビン・ロング缶(500ml)=日本酒 0.8 合
- ・ビール小ビン・ビールレギュラー缶(350ml)=日本酒 0.6 合
- ・ワイン 1 本=日本酒 2.8 合
- ・ウイスキー、焼酎は小さいグラス 2 杯=日本酒 1.0 合
- ・店で飲む徳利は 1 本約 0.7 合

→ SQ2. 【回答票 58】これまでに次のようなことがありましたか。

	(ア) あった	(イ) なかった
(1) お酒を減らさなければならなかったと感じたこと	1	2
(2) 他の人があなたの飲酒を批判するので気にさわったこと	1	2
(3) 飲酒について悪いとか、申し訳ないと感じたこと	1	2
(4) 神経をおちつかせたり、二日酔をなおすために「迎え酒」をしたこと	1	2

④7
④8
④9
⑤0

Q66. 現在、タバコを吸っていますか。

1 はい

2 いいえ → Q67へ

SQ. 平均して、1日に何本吸いますか。本 × わからない

⑤1
⑤2⑤3
⑤4

〔生活・意識〕

生活のことをうかがいます

Q67. [回答票 59] この1年以内に、あなたの生活には次のような出来事がありましたか。

SQ. (「あった」場合、それぞれの出来事について) あなたにとっての精神的な大変さはどの程度でしたか。

	なかった	あった	あなたにとっての精神的な大変さの程度		
			(ア)何とも なかった	(イ)少し 大変だった	(ウ)かなり 大変だった
(1) 家族の死亡	1	2	→ 1	2	3
(2) 家族の重い病気やけが	1	2	→ 1	2	3
(3) 家庭内の不和	1	2	→ 1	2	3
(4) 家族の失業、仕事上の問題	1	2	→ 1	2	3
(5) 経済的に大きな損失	1	2	→ 1	2	3

55 56
57 58
59 60
61 62
63 64

Q68. [回答票 60] あなたの生活全般についてどのように思いますか。

	(ア) そう 思う	(イ) やや そう思う	(ウ) どちらとも いえない	(エ) あまりそう 思わない	(オ) そう 思わない	わから ない
(1) 自分で立てた計画はうまくできる自信がある	1	2	3	4	5	6
(2) はじめはうまくいかないことでも、できるまで やりつづける	1	2	3	4	5	6
(3) 重要な目標を決めてもめったに成功しない	1	2	3	4	5	6
(4) いろいろやることがあるのは、うれしい	1	2	3	4	5	6
(5) 自分から友達をつくるのがうまい	1	2	3	4	5	6
(6) 人の集まりの中では、うまく振る舞えない	1	2	3	4	5	6
(7) 友達になりたい人でも、友達になるのが大変 ならば、すぐにやめてしまう	1	2	3	4	5	6
(8) 人と対立したときには、相手に自分の考えを わかってもらえるように努力する	1	2	3	4	5	6

65
66
67
68
69
70
71
72

Q69. [回答票 61] 次のことが、あなたにどのくらいあてはまると思いますか。

	(ア) 大いに あてはまる	(イ) やや あてはまる	(ウ) どちらとも いえない	(エ) やや ちがう	(オ) まったく ちがう	わから ない
(1) 私にはいくつも良い点がある	1	2	3	4	5	6
(2) 私は少なくとも他人と同じくらいには 価値のある人間だと思う	1	2	3	4	5	6
(3) 私には誇れるものがあまりないと思う	1	2	3	4	5	6
(4) 全体として、自分自身に満足している	1	2	3	4	5	6
(5) 私は全く役に立たないと時々思う	1	2	3	4	5	6

73
74
75
76
77

Q70. **【回答票 62】**全体として、現在の生活にどのくらい満足していますか。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. (ア)おおいに満足している | 4. (エ)あまり満足していない |
| 2. (イ)まあまあ満足している | 5. (オ)まったく満足していない |
| 3. (ウ)どちらともいえない | 6. わからない |

⑪

Q71. **【回答票 63】**ご自分の老後の生活について、次のような不安はありますか。

	(ア)大いに不安	(イ)まあまあ不安	(ウ)あまり不安はない	わからない
(1) 生きがいを持てなくなること	1	2	3	4
(2) 生活費が足りなくなること	1	2	3	4
(3) 社会との交流が少なくなること	1	2	3	4
(4) ねたきりになったり、ぼけたりして、家族や周りの人に迷惑をかけること	1	2	3	4
(5) 老後に住むところなくなること	1	2	3	4
(6) 十分な介護サービスが受けられないこと	1	2	3	4

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

Q72. **【回答票 64】**あなたは、これまでに次のようなことをしてきましたか。

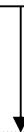
	(ア)してきた	(イ)してこなかった
(1) 人生設計講座や定年前準備講座の受講	1	2
(2) 就業に役立つような資格の取得	1	2
(3) 職業能力を高めるための自己啓発活動	1	2

⑱

⑲

⑳

【調査員注】自己啓発とは、学校教育や通信教育、セミナーや講演会などを通して、自発的に職業に関する能力を向上させるための活動



SQ. **【回答票 65】** (Q72(3)で「(ア)してきた」と答えた方に) あなたはそのような自己啓発活動を、平均するとどのくらい頻繁に行っていましたか。

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. (ア)月に1回以上 | 4. (エ)1年に1回より少ない |
| 2. (イ)年に数回くらい | 5. わからない |
| 3. (ウ)1年に1回くらい | |

㉑

[社会的ネットワーク]

Q73. **【回答票 66】**あなたの親族や知り合いの中に、現在、次のような職業についている人がいますか。

または、その職業の人を紹介してくれる人がいますか。

【調査員注】知り合いには、仕事関係も含める。(ア)と(イ)の両方にあてはまる場合は(ア)を選ぶ

	(ア)親族や直接の知り合いにいる	(イ)紹介してくれそうな人ならいる	(ウ)いない
(1) 弁護士など、法律の専門家	1	2	3
(2) 企業の重役や社長	1	2	3
(3) 地方議員・国会議員	1	2	3

㉒

㉓

㉔

Q74. [回答票 67] あなたには、家族以外で個人的に親しくつきあっている人が何人くらいいますか。

次のそれぞれの関係ごとにお答えください。

〔調査員注〕「仕事で知り合ったが、近所づきあいもしている」場合のように、複数の項目に当てはまる人は、最初に出てきた項目にだけ、数に入れる。

	(ア) いない	(イ) 1～4 人	(ウ) 5～9 人	(エ) 10～19 人	(オ) 20～49 人	(カ) 50 人以上
(1) 親戚	0	1	2	3	4	5
(2) 仕事で知り合った人	0	1	2	3	4	5

SQ[回答票 67]（(2)で「1人以上いる」人のみ） 仕事で知り合った人の中で、現在あなたと同じ会社や職場で働いている人は、何人くらいいますか。

〔調査員注〕現在の職場が
出向・派遣先の場合、出向・派遣元の会社での知り合いも含める

0	1	2	3	4	5	6
(ア) いない	(イ) 1～4 人	(ウ) 5～9 人	(エ) 10～19 人	(オ) 20～49 人	(カ) 50 人以上	現在働いて いない

	(ア) いない	(イ) 1～4 人	(ウ) 5～9 人	(エ) 10～19 人	(オ) 20～49 人	(カ) 50 人以上
(3) 近所づきあいをしている人	0	1	2	3	4	5
(4) その他の友人(学校、趣味のサークルで知り合った人など)	0	1	2	3	4	5

Q75. [回答票 68] 友人や近所の人たちとは、合計して、大体何回くらい会ったり、電話をしったりしていますか。

- | | | |
|-----------------|-------------------|----------|
| 1. (ア)1週間に2回以上 | 4. (エ)1ヵ月に1回くらい | 7. わからない |
| 2. (イ)1週間に1回くらい | 5. (オ)1ヵ月に1回より少ない | |
| 3. (ウ)1ヵ月に2、3回 | 6. (カ)まったくない | |

〔調査員注〕Q76～Q80で「非該当」とは、「同居家族はいない」など、該当する人がいないことである

Q76. [回答票 69] あなたのまわりの人たちは、あなたに心配事や悩み事がある場合、どのくらい話を聞いてくれますか。

	(ア) よく聞いて くれる	(イ) まあ聞いて くれる	(ウ) あまり 聞いてくれない	(エ) まったく 聞いてくれない	(オ) 心配事を 話さない	わからない	非該当
(1) 同居家族	1	2	3	4	5	6	7
(2) 別居の子どもや親戚	1	2	3	4	5	6	7
(3) 友人・近隣の人	1	2	3	4	5	6	7

Q77. [回答票 70] あなたのまわりの人たちは、日頃の生活でちょっとした手助けが必要なときに手伝ってくれますか。

	(ア) よく手伝って くれる	(イ) まあ手伝って くれる	(ウ) あまり手伝って くれない	(エ) まったく 手伝ってくれない	(オ) 頼まない	わからない	非該当
(1) 同居家族	1	2	3	4	5	6	7
(2) 別居の子どもや親戚	1	2	3	4	5	6	7
(3) 友人・近隣の人	1	2	3	4	5	6	7

Q78. **【回答票 71】**次の人たちが心配事や相談事について話したがっているときに、どの程度聞いてあげますか。

	(ア) たいてい聞 いてあげる	(イ) ときどき聞 いてあげる	(ウ) あまり聞いて あげない	(エ) まったく聞いて あげない	(オ) 話したがって いない	わから ない	非該当	
(1) 同居家族	1	2	3	4	5	6	7	③7
(2) 別居の子どもや親戚	1	2	3	4	5	6	7	③8
(3) 友人・近隣の人	1	2	3	4	5	6	7	③9

Q79. **【回答票 72】**次の人たちから、文句や小言を言われますか。

	(ア)よく 言われる	(イ)ときどき 言われる	(ウ)あまり 言われない	(エ)まったく 言われない	わから ない	非該当	
(1) 職場の人に	1	2	3	4	5	6	④0
(2) 同居家族に	1	2	3	4	5	6	④1
(3) 別居の子どもや親戚に	1	2	3	4	5	6	④2
(4) 友人・近隣の人に	1	2	3	4	5	6	④3

Q80. **【回答票 73】**次の人たちは、あなたをいらいらさせたり、怒らせたりすることがありますか。

	(ア)よくある	(イ)ときどき ある	(ウ)あまり ない	(エ)まったく ない	わからない	非該当	
(1) 職場の人は	1	2	3	4	5	6	④4
(2) 同居家族は	1	2	3	4	5	6	④5
(3) 別居の子どもや親戚は	1	2	3	4	5	6	④6
(4) 友人・近隣の人	1	2	3	4	5	6	④7

[住宅]

お住まいについてうかがいます。

Q81. **【回答票 74】**あなたの現在のお住まいはどれですか。

- | | | |
|--------------------------|------------------|----|
| 1. (ア)持ち家(一戸建て) | 4. (エ)給与住宅(社宅・寮) | |
| 2. (イ)持ち家(分譲マンションなど集合住宅) | 5. (オ)その他() | ④8 |
| 3. (ウ)賃貸住宅 | | |

Q82. **【回答票 75】**あなたは、現在の住所に通算して何年住んでいますか。途中、転出して戻って来た場合はその期間を除いた合計年数でお答えください。【調査員注】同じ町内の移動は転出に含めない

- | | | |
|---------------|-----------------|--------------|
| 1. (ア) 1年未満 | 4. (エ) 5～10年未満 | 7. (キ) 30年以上 |
| 2. (イ) 1～3年未満 | 5. (オ) 10～20年未満 | 8. わからない |
| 3. (ウ) 3～5年未満 | 6. (カ) 20～30年未満 | ④9 |

[家計]

Q83. **【回答票 76】**現在のお宅の暮らしの状況を総合的にみてどう感じていますか。

- | | | |
|-------------|----------------|----|
| 1. (ア)大変苦しい | 4. (エ)ややゆとりがある | |
| 2. (イ)やや苦しい | 5. (オ)大変ゆとりがある | ⑤0 |
| 3. (ウ)普通 | 6. わからない | |

Q84. あなたは、次の年金を受けることができますか。(受けられる場合)何歳から受ける資格がありますか。

〔調査員注〕受給資格年齢は、すでに受けている場合も聞く

	受給できる	受給できない	わからない	
(1) 公的年金 (国民年金、厚生年金、公務員共済年金、労災年金、恩給等)	1	2	3	⑤①
↓ 受給資格年齢 歳から × わからない				⑤② ⑤③ ⑤④
(2) 企業年金	1	2	3	⑤⑤
↓ 受給資格年齢 歳から × わからない				⑤⑥ ⑤⑦ ⑤⑧

Q85. [回答票 77]あなたと配偶者の年収は、合計して、この中のどれにあたりますか。税込みでお答えください。

〔調査員注〕仕送りや年金、生活保護などを含む。配偶者がいない時は本人の年収で答えてもらう

- | | | | |
|-------------------|---------------------|-----------------|----|
| 1. (ア)120万円未満 | 5. (オ)400～500万円未満 | 9. (ケ)1,000万円以上 | |
| 2. (イ)120～180万円未満 | 6. (カ)500～600万円未満 | 10. わからない | ⑤⑨ |
| 3. (ウ)180～300万円未満 | 7. (キ)600～800万円未満 | 11. 無回答 | ⑥⑩ |
| 4. (エ)300～400万円未満 | 8. (ク)800～1,000万円未満 | | |

Q86. [回答票 78]あなた方ご夫婦(あなた)の貯蓄(預貯金、信託、債券、株式など)の総額は、およそどれくらいになりますか。

- | | | |
|-----------------------|-----------------------|----|
| 1. (ア)100万円未満 | 5. (オ)2,000～3,000万円未満 | |
| 2. (イ)100～500万円未満 | 6. (カ)3,000万円以上 | ⑥① |
| 3. (ウ)500～1,000万円未満 | 7. わからない | |
| 4. (エ)1,000～2,000万円未満 | 8. 無回答 | |

Q87. あなた方ご夫婦(あなた)には、現在、100万円以上の借入金、住宅ローンなどがありますか。

〔調査員注〕対象者(夫婦)以外の人と共同で借りている場合は、対象者(夫婦)分の残高で答えてもらう

- | | | |
|------|------|----|
| 1 ある | 2 ない | ⑥② |
|------|------|----|

Q88. あなたの年齢は、9月末でいくつですか(何年何月生まれですか)。

昭和 年 月生 平成 28 年 9 月 30 日現在: 満 歳

⑥③ ⑥④
⑥⑤ ⑥⑥
⑥⑦ ⑥⑧

Q89. [回答票 79]あなたが最後に卒業された学校は次のどちらですか。

- | | | |
|---------------|---------------|----|
| 1. (ア)中学校 | 5. (オ)4年制大学 | |
| 2. (イ)高等学校 | 6. (カ)大学院 | ⑥⑨ |
| 3. (ウ)専門・専修学校 | 7. (キ)その他 () | |
| 4. (エ)短大・高専 | | |

〔調査員注〕次のページも忘れずに質問する

〔調査員注〕 ここで、同意書を提示して、次の文章を読みあげる

Q90. 桜美林大学老年学総合研究所では、雇用延長と、皆様の生活や健康の関連について研究を深めていくために、皆様と直接お会いして、より詳しいお話をおうかがいする訪問面接調査の実施を計画しています。今後も調査へのご協力をお願いを差し上げてもよろしい場合は、下記にご連絡先をご記入ください。実際に協力するかどうかは調査のご案内を差し上げたときに、あらためてご判断いただいかまいません。

1. 記入済みの同意書を受け取った
2. 同意書の記入は断られた

⑦⑩

以上で調査は終わりです。長い間ご協力ありがとうございました。

〔電話番号〕

お差し支えなければ電話番号をお聞かせください。これは、私がおじゃました確認や、そのようなことはないと思いますが、もしもおうかがいしそこねたことがあったとき、おたずねするためです。ご迷惑をおかけするようなことはありませんのでご安心ください。

1 市外局番
回答あり → ()

—

2
回答なし

⑦⑪